

平成30年度  
(2018年度)

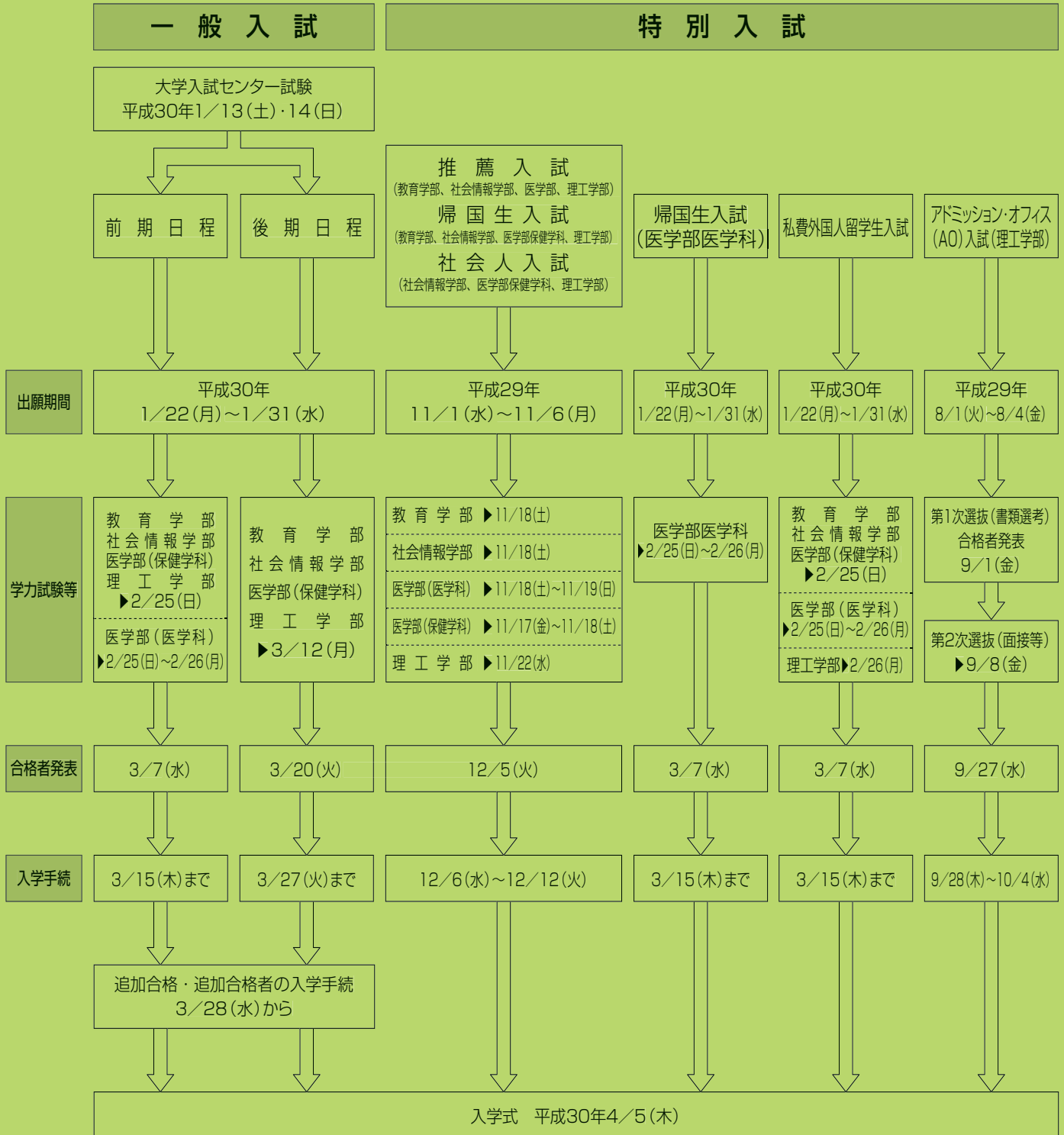
帰国生・社会人入試  
学生募集要項

~~(入学願書在中)~~



群馬大学  
GUNMA UNIVERSITY

## 群馬大学入学者選抜日程の概要



本学では、これらの入学者選抜のほか、編入学試験を実施します(教育学部を除く)。  
詳細については、裏表紙「入学試験に関する問合せ先」の各学部入試担当係へ問合せください。

## 【群馬大学志願者の入学検定料免除について】

群馬大学では、東日本大震災及び風水害等の災害に罹災した志願者の進学のを支援する観点から、特別措置として検定料の全額を免除します。

免除の対象となる災害及び被災地域など、免除に関する詳細については、本学のホームページを御覧ください。

## 目 次

群馬大学の教育ポリシー	1
各学部の教育ポリシー	3
Ⅰ. 平成30年度 帰国生入試学生募集要項	
1. 帰国生入試を実施する学部・学科等及び募集人員	11
2. 帰国生入試の出願要件	11
3. 出願手続	12
4. 選抜方法	16
5. 障害等のある入学志願者との事前相談について	20
6. 合格者の発表	20
7. 受験心得	20
8. 入学手続等	21
9. 一般入試等へ出願について	22
10. 入学準備	23
11. 入学願書等の記入上の注意	23
12. 別記 教育学部実技試験の内容等	24
13. 平成30年度入試情報開示について	25
14. 入学志願者の個人情報保護について	25
Ⅱ. 平成30年度 社会人入試学生募集要項	
1. 社会人入試を実施する学部・学科及び募集人員	26
2. 社会人入試の出願要件	26
3. 出願手続	27
4. 選抜方法	30
5. 障害等のある入学志願者との事前相談について	32
6. 合格者の発表	32
7. 受験心得	32
8. 入学手続等	32
9. 一般入試等へ出願について	34
10. 入学準備	34
11. 入学願書等の記入上の注意	34
12. 平成30年度入試情報開示について	35
13. 入学志願者の個人情報保護について	35
◎ 受験の際の宿泊について	36
◎ 試験場までの交通案内	36
各学科・専攻の教育ポリシー	
教育学部	
社会専攻	39
数学専攻	41
理科専攻	43
音楽専攻	45
美術専攻	47

障害児教育専攻 .....	49
医学部保健学科	
看護学専攻 .....	51
検査技術科学専攻 .....	54
理学療法学専攻 .....	56
作業療法学専攻 .....	58
理工学部	
化学・生物化学科 .....	60
機械知能システム理工学科 .....	62
環境創生理工学科（環境エネルギーコース） .....	65
環境創生理工学科（社会基盤・防災コース） .....	67
電子情報理工学科（電気電子コース） .....	69
電子情報理工学科（情報科学コース） .....	71
総合理工学科 .....	73
コンビニエンスストア・クレジットカードでの検定料支払方法 .....	75

〔添付書類〕

平成30年度群馬大学帰国生・社会人入試出願書類等確認票

- |         |  |
|---------|--|
| 様式 1    | 帰国生入試入学願書  |
| 様式 2    | 社会人入試入学願書  |
| 様式 3    | 検定料振込用紙<br>(教育学部・社会情報学部・医学部・理工学部（総合理工学科（フレックス制）を除く）<br>志願者用) |
| 様式 4    | 検定料振込用紙（理工学部総合理工学科（フレックス制）志願者用）                              |
| 様式 5    | 振込金受付証明書・検定料収納証明書貼付台紙  |
| 様式 6・7  | 帰国生入試照合票・受験票（教育学部志願者用）                                       |
| 様式 8・9  | 帰国生入試照合票・受験票（社会情報学部・医学部・理工学部志願者用）                            |
| 様式10・11 | 社会人入試照合票・受験票   |
| 様式12    | 宛名票  |
| 様式13    | 帰国生入試志願者身上記録書  |
| 様式14    | 実技試験に関する届出用紙（教育学部音楽専攻志願者用）                                   |
| 様式15    | 作品制作証明書（作品写真）（教育学部美術専攻志願者用）                                  |
| 様式16    | 美術活動調査書（教育学部美術専攻志願者用）  |
| 様式17    | 社会人入試志願理由書   |
| 様式18    | 社会人入試推薦書   |
| 封筒      | 受験票送付用（長3＝1枚）・入学願書出願用（角2＝1枚）                                 |

※ 試験の実施に関して不測の事態（災害・事故等）が生じた場合は、本学ホームページ(入試案内)に掲載しますので、御確認ください。なお、追試験は、原則実施しません。

群馬大学ホームページ：<http://www.gunma-u.ac.jp/>

※ 試験前日又は試験当日に、最寄りの駅・バス停から試験場周辺にかけて勧誘や物品の販売等が行われていることがありますが、これらの行為は群馬大学とは何ら関係がありません。不当な料金を請求される等のトラブルに巻き込まれないよう十分注意してください。そのような事故が生じて、群馬大学は一切責任を負いません。



[https://page.line.me/gunma\\_uni\\_ad](https://page.line.me/gunma_uni_ad)



[https://twitter.com/gunma\\_uni\\_ad](https://twitter.com/gunma_uni_ad)

※ LINEとTwitterから入試情報をリアルタイムでお届けします。

## 必ずお読みください

### 群馬大学の教育ポリシー

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）～このような人を求めています～

#### <入学者に求める能力・資質>

群馬大学の理念、教育の目標に賛同し、本学の教職員と共に学術研究の成果を地域に還元し、豊かな地域社会・国際社会の創造に貢献していく意欲にあふれ、以下の能力・意欲を持つ人を求めています。

- 1 高等学校の教育課程についての総合的な理解と大学教育を受けるにふさわしい基礎学力がある。
- 2 専門分野を学ぶ上で必要な基礎知識と強い探究心、コミュニケーション能力を持っている。
- 3 主体的に学ぶ姿勢と、論理的で柔軟な思考能力を持っている。
- 4 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む意欲がある。
- 5 高い志と豊かな発想力を持ち、未来を切り開く夢と情熱を持っている。
- 6 地域社会や国際社会に貢献する意欲とリーダーシップを持っている。

#### <入学者選抜の方針・方法>

群馬大学は、本学で学びたい学生に対し、その多面的な能力を評価し選抜するために、多様な受験機会・入学試験を提供します。また、本学の国際化推進基本計画に基づいて、海外からの留学生を積極的に受け入れる方針の下、受験機会を提供します。

本学の教育の目標、求める能力・資質に合致する学生を選抜するために、一般入試（前期・後期）の他に、特別入試としてAO入試、推薦入試、帰国生入試、社会人入試、私費外国人留学生入試、3年次編入学試験等の入学試験を実施します。本学の入学試験では、それぞれの学部・学科・課程の専門・特性に合わせて、大学入試センター試験、個別学力検査、実技等試験、調査書、活動歴、面接、小論文等を組み合わせて、総合的に合否を判定します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

#### <教育課程編成と教育方法>

全学的な協力体制の下、教養教育と専門教育の融合を図り、幅広く深い教養、豊かな知性と感性、総合的な判断力、専門分野の基礎的能力を育成するため、学生の潜在能力を最大限引き出せる教育課程を編成し、実施します。本学の基本理念及び教育の目標を達成するために、本学の教育課程（カリキュラム）は以下の方針で編成されています。

- 1 カリキュラム・ポリシーを具現化するカリキュラム・マップに従った系統的な教育と、授業科目の目標・内容・教育方法・達成度（成績）評価方法等について詳述されたシラバスに基づいた教育を実施し、アクティブ・ラーニング等の学生の自主的な学修意欲を促す教育、授業時間外自己学修や学修の振り返りを促す教育等を幅広く行う。
- 2 学士課程教育においては、全学共通の教養科目、学部別科目（専門基礎科目、一部の学部で開設）、及び専門科目、加えて学部独自の教養教育科目を、互いの融合を図りながら編成する。

- 3 全学共通の教養科目は、学士力の育成の基礎となる教養基盤科目と、幅広く深い教養・総合的な判断力・豊かな人間性の涵養につながる教養育成科目の二つの科目群から構成される。個別の領域の知識を学ぶのではなく、それらを統合していく考え方の修得及び各学問分野に共通の思考・判断・表現法の修得につながる教育を行うことにより、学生が自らの教養と主体性を構築していくことを促し、また外国語も含めた汎用的技能の基盤を培い、アイデンティティの確立した知識人としての考え方ができる人材を育成する教育を行う。
- 4 専門教育を学ぶ上で必須となる基礎的知識や技能の修得を目的に、高校教育と大学における専門教育との円滑な接合を助け、その分野の基本的リテラシーについて学ぶ教育を行う。また、専門分野に関連する分野についての基礎的理解と新しいアイデアを引き出すことに役立つ知識・技能の修得を図り、専門分野の知識・理解・技能の質の更なる向上を目指す教育を展開する。
- 5 専門科目においては、次の能力の養成に向けた教育を行う。
  - (1) 専門分野の内容、社会的意義と限界を深く理解し、他者に説明・表現できる能力
  - (2) 専門分野に関係する諸分野についての基礎的理解があり、客観的な評価ができる能力
  - (3) 自らの専門分野の視点から現代世界が直面する諸変化の特性・特質を理解し、生起する諸課題について探究し、課題解決に実践的に取り組んでいくことができる能力

#### <学修成果の評価>

シラバスに記載の達成度（成績）評価方法に基づいて行います。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）～このような人材を育てます～

#### <卒業認定・学位授与の条件>

- 1 以下の学修達成目標及び所属する学部・学科・課程が定める学位授与の要件を満足していること。
- 2 所定の年限在学し、かつ所属する学部・学科・課程が定める単位を修得していること。

#### <学修成果の目標>

専門的学識、技能

- 1 所属する学部・学科・課程の専門分野において求められる専門的学識・技能を修得し、現実の諸課題に対してその活用ができる。

幅広い教養、学際性

- 2 人間社会、歴史・文化、自然等についての幅広い教養と学際的理解に基づいて、様々な問題に対して多面的・総合的な判断ができる。

論理的思考力、コミュニケーション力

- 3 論理的思考力とコミュニケーション能力を持ち、社会で生起する問題に対し主体的に取り組む意欲を持っている。

社会人としての自覚、国際性

- 4 自然との共生を基盤とした豊かな人間性と広い視野及び社会的倫理観を持ち、社会から信頼され国内外で活躍することができる。

## 必ずお読みください

### 教育学部の教育ポリシー

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）～このような人を求めています～

- 1 教職を目指す明確な意志と情熱を有する人
- 2 児童・生徒の成長に関わることに喜びを感じられる人
- 3 周囲とのコミュニケーション能力や協調性を備える人
- 4 諸課題の解決に向けて粘り強く努力できる人
- 5 系・専攻に関する事項に関心を持ち、教職を目指すために必要な基礎学力を有する人

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

- 1 学校教員に求められる幅広い教養を培う教育
- 2 教育に関わる様々な理論に裏付けられた、現実の教育問題を考える力を養う教育
- 3 教科についての専門的知識を高める教育
- 4 教科指導法など、学校教員として必要となる知識・技術を培う教育
- 5 教育実習などの体験的学習を通して、実践的指導力を養う教育
- 6 卒業研究を通して、思考力や表現力、課題解決能力、創造的な探究能力を養う教育

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）～このような人材を育てます～

所定の年限在学し、かつ所定の単位を修得した、次のような者に学士の学位を授与します。

- 1 優れた人間性と豊かな教養を有している者
- 2 各教科の内容について、深い認識を有している者
- 3 各教科について、実践的な指導力を有している者
- 4 現代の社会における教育の意義、学校の役割、教育に関する諸問題について、確かな見識を有している者
- 5 子どもの成長・発達とそれを支える大人の役割について、十分に理解している者
- 6 子ども、親、同僚などとコミュニケーションをとることができる者

※ 各専攻の教育ポリシーについては、39～50ページ参照。

## 必ずお読みください

### 社会情報学部の教育ポリシー

#### 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）～このような人を求めています～

##### <人材育成の目標>

社会で情報が生産・流通・加工・蓄積・活用される過程に関する知識を有し、批判的な思考・判断によって高度情報社会の課題を発見し、その解決を科学的な思考と実践的な情報処理やデータの収集・分析によって提案できる人材の育成

##### <入学者に求める能力・資質>

- 1 社会の仕組みや情報技術に関する基本的な知識を持つ人
- 2 科学的な考え方や基本的な分析手法を身に付けている人
- 3 思考力・表現力の基礎となる言語運用能力を身につけている人
- 4 高度情報社会の在り方や望ましい発展に関心がある人
- 5 情報処理能力やデータの収集・分析能力を身に付けようとする人
- 6 外国語運用能力の向上と多文化の理解に関心がある人

##### <入学に際し必要な基礎学力>

入学試験で選択した科目に限らず幅広く学習していることが望ましい。国語や数学、英語、地理歴史、公民、理科等を学習し、さらに広く情報社会の出来事に関心を持つようにしておくことが望ましい。

#### 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

##### <教育の目標>

- 1 大学での学修に必要な基礎的な学力や学修の方法・技術を修得させ、多角的な視点から問題を探究する姿勢を身に付けさせる教育
- 2 専門教育を支える十分な社会情報学的な思考方法を醸成する教育
- 3 情報リテラシーやデータ収集・分析能力、外国語運用能力等を養成する教育
- 4 高度情報社会の特質を専門的・多角的に読み解く力や問題解決能力を養成する教育
- 5 自ら設定したテーマに沿って調査・研究活動を進め、それを論文や提案として結実させる能力を養成する教育

##### <教育課程の構成>

- 1 初年次を中心に編成された人文・社会科学、自然科学、外国語科目等の教養基盤科目、教養育成科目により基礎的素養を身に付ける教育を展開する。また、専門教育の基礎となるコア科目及びスキル系科目を学修させ、教養教育から専門教育へのスムーズな導入を図る。
- 2 これを基盤として、教育目標を達成するための専門教育をカリキュラムマップに則って系統的に行う。学んだ知識を実際の場面で応用できる技術・方法の修得のため、演習を重視し、専門分野での実践力を養う。



#### <教育内容・方法>

- 1 学生の主体的・能動的な参加に基づいた講義・演習・実習の各科目
- 2 シラバスに詳述されたカリキュラムを構成する授業科目の目標・内容・教育方法・評価方法等に基づいた授業の展開
- 3 シラバス記載の目標の達成に向けた講義時間外の自己学習(予習・復習)の督励

#### <学修成果の評価>

学修成果の評価は、各科目についてはシラバス記載の成績(達成度)評価基準に基づいて行い、学則に従いS、A、B、C、Dの5段階での判定とこれを基にしたGPAの決定を行う。

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)～このような人材を育てます～
-----------------------------------

#### <学位授与の条件、達成度・能力評価の基準>

所定の年限在学し、かつ所定の単位を修得した者に学士の学位を授与する。  
上記のことを前提に、国立大学唯一の社会情報学部であることから、学士に求められる能力評価の一般的な基準を参考にしつつも、高度情報社会において有用な能力を獲得したかどうかを厳しく評価することとする。

#### <学修成果の目標>

- 1 社会で情報が生産・流通・加工・蓄積・活用される一連のプロセス(社会情報過程)に関する知識を有し、課題を理解できること
- 2 情報社会に生起する組織や地域社会の諸課題に関心を持ち、その解決に意欲を持つこと
- 3 科学的・批判的に思考・判断する能力を有し、自ら得た知見を分かりやすく説明・伝達する能力を備えていること
- 4 実践的な情報処理能力と課題に即したデータの収集・分析能力を有し、適切な考察を行うことができること
- 5 外国語運用能力を有し、国内外で活躍できること

## 必ずお読みください

### 医学部医学科の教育ポリシー

#### 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）～このような人を求めています～

医学と医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることをふまえ、医学生として、科学的知（Science）、倫理(Ethics)、技能(Skill)の3つの面（SES）にわたって自己研鑽に励むことができる人

- 1 豊かな感受性、奉仕の精神を備え、医師としてふさわしい資質を身につけることを目指して、不断の努力を積み重ねられる人
- 2 医療、医学研究、医学教育もしくは医療行政などの分野において、社会に貢献することへの志と強い信念を持っている人
- 3 本学科の教育内容を理解するために必要な総合的基礎学力を十分に備えている人

#### <入学に際し必要な基礎学力>

特に日常的な学習が十分に行われていることが望ましいのは、国語と英語である。専門科目を学ぶために必要となるのは、数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・Bであり、理科では、受験科目にかかわらず、物理（物理基礎を含む）、化学（化学基礎を含む）、生物（生物基礎を含む）である。

#### 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

医学と医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることを理解し、科学的知（Science）、倫理(Ethics)、技能(Skill)の3つの面（SES）にわたって生涯自己研鑽する力が付く教育

- 1 自分をふりかえり他者を思いやる心が育ち、コミュニケーションを通して相互理解を図る態度が身に付く教育
- 2 自然科学、医学、医療、人間と社会にかかわる知を習得し、それを実践でいかす力が身に付く教育
- 3 新たな課題にも対応できる問題解決能力が身につき、リサーチマインドが育つ教育
- 4 生涯にわたって社会貢献と自己研鑽に努める意欲が育つ教育

#### 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）～このような人材を育てます～

所定の年限在学し、かつ所定の単位を修得した、次のような者に学士の学位を授与します。

医学と医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることを理解し、科学的知(Science)、倫理(Ethics)、技能(Skill)の3つの面(SES)にわたって生涯自己研鑽を続けることができる者

- 1 医師にふさわしい倫理観と責任感を有し、医療チームの中で医師として適切な行動をとることができ、他者と信頼関係を築ける者
- 2 医師、医学研究者、医学教育者又は医療行政担当者となるために必要な知識を身に付

- けるとともに、新たな課題にも対応できる問題解決能力を修得した者
- 3 医学知識に裏打ちされた臨床と研究の能力を修得し、患者により良い医療を提供する能力と、医学や医療の発展に貢献する意欲を備えた者

## 必ずお読みください

### 医学部保健学科の教育ポリシー

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）～このような人を求めています～

#### <人材育成の目標>

- 1 豊かな見識を身に付け、人間の尊厳を尊重し、全人的医療を担う人材を育成します。
- 2 本学科での学修を通して、学士（看護学・保健学）に求められる知識、技能、態度、創造的思考力を身に付けた人材を育成します。
- 3 将来に向け自らを向上させていく意欲と自己開発力を持ち、地域や国際社会での保健医療の諸課題に広く対応できる人材を育成します。
- 4 保健医療の現場においてチーム医療を担う人材を育成します。
- 5 看護師・助産師・保健師、臨床検査技師・細胞検査士、理学療法士、作業療法士となることを通じて、高度化・専門化する保健医療専門職の次世代のリーダーや教育・研究者を育成します。

#### <入学者に求める能力・資質>

- 1 柔軟な発想、みずみずしい感性、高い意欲を持っていること。
- 2 他者とのコミュニケーションが円滑にできること。
- 3 理系課題に対して、論理的な思考を行い、他人に説明できること。
- 4 文系課題に対して、自らの考えを交えて要約して他人に説明できること。
- 5 英文課題に対して、自らの考えと併せて他人に説明できること。

#### <入学に際し必要な基礎学力>

- 1 各入学者選抜の出願要件に定める科目について履修又は履修見込みであること。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

知性と行動力を備えた人間性豊かな保健医療人材の育成を目指し、次のような教育を行います。

- 1 全人的医療の担い手としての人間性の涵養と、専攻分野で必要な基礎力の育成を図る教育
- 2 専門教育では基礎から臨床に亘る階層的知識の積み上げを図るとともに、先端の保健医療の学習にも配慮する教育
- 3 保健医療の担い手としての主体的思考・行動力と豊かな感性を持つ人材育成を図る教育
- 4 チーム医療の担い手としての意識と、そこで必要な能力の育成を図る教育
- 5 保健医療の諸課題に対応できる地域的視点と国際的視野を持つ人材育成を図る教育

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）～このような人材を育てます～

所定の年限在学し、かつ所定の単位を修得し、各専攻のディプロマ・ポリシーが規定す

る学識と能力を持つ次のような者に学士の学位を授与します。

- 1 保健医療の中核を担う専門職業人となるために必要な知識と技術を備え、人間の尊厳を尊ぶ心を持つ者
- 2 保健医療の担い手として、将来に向け自らを向上させてゆく意欲と自己開発力を持つ者
- 3 チーム医療を担う自覚を有し、関係する人々との相互理解と円滑な協働関係が築ける者
- 4 保健医療の諸課題に対し、多面的視点からの柔軟な思考、的確な判断と対応ができる者

※ 各専攻の教育ポリシーについては、51～59ページ参照。

## 必ずお読みください

### 理工学部の教育ポリシー

#### 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）～このような人を求めています～

- 1 誰も行ったことのない新しいことに挑戦することが好きで、失敗をおそれない人
- 2 自らの能力向上を目指し、そのための労を惜しまない人
- 3 自然現象や科学技術などに興味があり、それらを通じて自然科学の原理原則を最後まで追究したい人
- 4 理工学を学ぶ上での基礎学力を有し、理学的基盤（数学、物理学、化学、生物学など）の理解を基に新理論・新技術の開発にチャレンジしたい人
- 5 理工学分野で国際的な活躍を目指す人

#### 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

世界の知的基盤を担う創造性豊かな人材を育成するため、学生と教員との緊密なつながりを基本として、次のような教育を行います。

- 1 理学に根ざした俯瞰的な物の見方、考え方を身に付け、工学に根ざした実践的・独創的な課題解決能力を養う理工学教育
- 2 国際的な水準を満たし、かつ各教員の特長を活かした教育
- 3 個人の発想や知的好奇心を尊重し、未知の分野に挑戦する活力と創造性を育む教育
- 4 国際コミュニケーション能力を備え、世界を舞台に研究者・技術者として活躍できる人材を育成する教育

#### 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）～このような人材を育てます～

所定の年限在学し、かつ所定の単位を修得した、次のような者に学士の学位を授与します。

- 1 自然や社会の理解に関する俯瞰的・論理的な見方や考え方を修得した者
- 2 理工学に関する基礎および専門的な知識を修得した者
- 3 社会の中で専門分野の知識を活かし、未知なるものの探求、新たなものの創生や諸課題の解決に取り組める者
- 4 他者の意見を理解し、自らの意見を伝え、外国の人ともコミュニケーションができる素養をも持つ者

※ 各学科の教育ポリシーについては、60～74ページ参照。

## I. 平成30年度 帰国生入試学生募集要項

## 1. 帰国生入試を実施する学部・学科等及び募集人員

学 部	系 ・ 学 科	専 攻	募 集 人 員
教育学部	文化・社会系	社会専攻	若 干 名
	自然・情報系	数学専攻	
		理科専攻	
	芸術・表現系	音楽専攻	
	教育人間科学系	美術専攻 障害児教育専攻	
社会情報学部	社会情報学科		若 干 名
医学部	医 学 科		若 干 名
	保 健 学 科	看護学専攻	若 干 名
		検査技術科学専攻	
		理学療法学専攻 作業療法学専攻	
理工学部	化学・生物化学科		若 干 名
	機械知能システム理工学科		
	環境創生理工学科		
	電子情報理工学科		

(注) 1. 上記以外の学科・専攻は実施しません。

2. 本入試は、同一日程の入試と併せて受験することはできません。

## 2. 帰国生入試の出願要件

日本国籍を有する者又は日本国に永住権を有する者で、外国に在住し外国の学校教育を受けた者のうち、次のいずれかに該当する者

- (1) 外国及び日本において学校教育における12年の課程を、平成28年4月1日から平成30年3月31日までに修了した者又は修了する見込みの者。ただし外国において、日本の高等学校に当たる在籍期間を含め継続して2年以上学校教育を受けていること。
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして指定又は認定した在外教育施設に当該課程を含め継続して2年以上在籍し、平成28年4月1日から平成30年3月31日までに当該課程若しくは高等学校の課程を修了した者又は修了する見込みの者。
- (3) 外国において、次の資格を平成28年(2016年)又は平成29年(2017年)に取得した者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの
  - ① スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロ

レア資格

- ② ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格（ライフェを含む）
  - ③ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格
  - ④ グレート・ブリテン及び北アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE Aレベル資格）〔1科目以上合格（評価E以上）していること〕
- ※なお、教育学部では日本語を除きます。

### 3. 出願手続

(1) 出願書類送付先

〒371-8799 日本郵便株式会社 前橋中央郵便局留  
群馬大学 帰国生・社会人入試出願書類受付係

(2) 問い合わせ先

群馬大学学務部学生受入課入学試験係 電話：027-220-7150

(3) 出願方法

出願書類は一括して本学所定の封筒に入れ、必ず書留速達で郵送してください。  
普通郵便等で郵送した場合、事故があっても本学ではその責任は負いません。

(4) 出願期間

◎教育学部、社会情報学部、医学部保健学科、理工学部

平成29年11月1日（水）から11月6日（月）必着とします。

出願書類は、平成29年11月6日（月）までに必ず届くよう、郵送期間を十分考慮のうえ発送してください。ただし、出願期間後（11月7日（火）以降）に到着した場合でも、11月4日（土）までの（11月4日（土）を含む）発信局消印がある「書留速達」に限り受理します。なお、特別な事情がある場合については、平成29年10月31日（火）17時15分までに上記「(2)問い合わせ先」へ連絡してください。

◎医学部医学科

平成30年1月22日（月）から1月31日（水）必着とします。

出願書類は、平成30年1月31日（水）までに必ず届くよう、郵送期間を十分考慮のうえ発送してください。ただし、出願期間後（2月1日（木）以降）に到着した場合でも、1月29日（月）までの（1月29日（月）を含む）発信局消印がある「書留速達」に限り受理します。なお、特別な事情がある場合については、平成30年1月19日（金）17時15分までに上記「(2)問い合わせ先」へ連絡してください。



## (5) 出願書類(外国語によるものは、日本語の訳を付けてください。)

書類	摘要
出願書類等確認票	全学部
入学願書	様式1 必ず志願者本人が黒のボールペン又は万年筆で楷書で正確に記入し、該当事項を○で囲んでください。
身上記録書	様式13
卒業・修了(見込)証明書又は卒業・修了証書の写し	「2. 帰国生入試の出願要件」(1)又は(2)の該当者 (外国語によるものは、日本語の訳をつけてください。)
成績証明書	a. 出願要件(1)又は(2)の該当者 出身校の成績証明書を提出してください。 b. 出願要件(3)-①の該当者 国際バカロレア事務局(International Baccalaureate Office)が授与する国際バカロレア資格証明書の写し及び最終試験6科目の成績評価証明書を提出してください。 c. 出願要件(3)-②の該当者 一般大学入学資格証明書の写し及び成績証明書を提出してください。 d. 出願要件(3)-③の該当者 バカロレア資格証明書及び成績評価証明書を提出してください。 e. 出願要件(3)-④の該当者 GCE Aレベルの成績評価証明書を提出してください。 f. 国家試験等の統一試験(アメリカ合衆国のSAT等)を受験している者は、その成績評価証明書等を提出してください。
調査書	日本の高等学校に在学したことがある者は提出してください。 ※1 出身学校の事情(廃校及び被災等を含む)により、出身学校長の調査書が得られない場合は、卒業証明書、成績通知表(成績通信簿)及びその他入学志願者が提出できる書類を、調査書に代えて提出してください。 ※2 本人が被災等により※1の書類も整えられない場合は、出身学校を所管する教育委員会、知事又は出身学校長が作成したこの内容を証明できる書類を提出してください。
語学検定試験の成績	TOEIC、TOEFL等語学検定試験を受験した者は、成績、スコアを提出してください。
照合票・受験票	様式6・7:教育学部 様式8・9:社会情報学部、医学部、理工学部 必要事項を記入し、写真(上半身・正面・無帽 夕テ4cm×ヨコ3cm 1枚:出願前3か月以内に撮影したもの)を所定の欄に貼り付けてください。
検定料	17,000円  次のいずれかの方法により支払ってください。 <b>1. 金融機関(ゆうちょ銀行を除く)からの支払い</b> (1) 本募集要項に添付してある検定料振込用紙(様式3)により、上記金額を必ず金融機関窓口から振り込み、「振込金受付証明書(大学提出用)」を受領してください。なお、振込手数料は振込人の負担となりますので、留意してください。 (2) 「振込金受付証明書(大学提出用)」を貼付台紙(様式5)の所定の欄に貼り付けてください。 (3) 「振込金受取書」は本人の控えとして、大切に保管しておいてください。 (4) 振込取扱期間 ◎教育学部、社会情報学部、医学部保健学科、理工学部 平成29年10月13日(金)～11月6日(月)15時まで ◎医学部医学科 平成30年1月10日(水)～1月31日(水)15時まで

書 類	摘 要
検 定 料	<p>(5) 金融機関出納印のないもの、金額を訂正したもの及び鉛筆書きのものは無効になります。また、ATM（現金自動預払機）、携帯電話、パソコン等からは、振り込まないでください。</p> <p><b>2. コンビニエンスストアでの支払い（パソコンやスマートフォン等のある環境で御利用ください。）</b></p> <p>(1) 75ページ「コンビニエンスストア・クレジットカードでの検定料支払方法」を参照の上、支払ってください。なお、支払手数料は支払人の負担となりますので、留意してください。</p> <p>(2) 支払後、レジにて受け取った「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、貼付台紙（様式5）の所定の欄に貼り付けてください。</p> <p>(3) 支払期間  ◎教育学部、社会情報学部、医学部保健学科、理工学部  平成29年10月13日(金)～11月6日(月)15時まで  ◎医学部医学科  平成30年1月10日(水)～1月31日(水)15時まで  (いずれも「Webサイトでの申込み」は、支払期間終了30分前まで)</p> <p><b>3. クレジットカードでの支払い（パソコンやスマートフォン等、プリンタのある環境で御利用ください。）</b></p> <p>(1) 75ページ「コンビニエンスストア・クレジットカードでの検定料支払方法」を参照の上、支払ってください。なお、支払手数料は支払人の負担となりますので、留意してください。</p> <p>(2) 支払後、「入学検定料・選考料 取扱明細書」を印刷し、「収納証明書」部分を切り取り、貼付台紙（様式5）の所定の欄に貼り付けてください。</p> <p>(3) 支払期間  ◎教育学部、社会情報学部、医学部保健学科、理工学部  平成29年10月13日(金)～11月6日(月)15時まで  ◎医学部医学科  平成30年1月10日(水)～1月31日(水)15時まで</p> <p>※ 既納の検定料は原則として返還しません。  ただし、検定料を振り込み後、本学に出願しなかった場合又は書類の不備等により受理されなかった場合、あるいは重複振り込み等所定の金額より多く振り込んだ場合は、下記手続により返還します。  返還に当たっては便せん等を用い、次のア～オを明記した「検定料返還申出書」を作成して群馬大学財務部経理課へ郵送してください。</p> <div data-bbox="565 1361 1302 1554" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">群馬大学帰国生入試検定料返還申出書</p> <p>ア. 返還申出の理由  イ. 氏名（フリガナ）  ウ. 郵便番号、現住所  エ. 連絡電話番号  オ. 志望学部</p> </div> <p>返還申出書送付先  〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2  群馬大学財務部経理課収入係 電話：027-220-7062</p> <p>返還手続を行う際に、「振込金受取書」又は「入学検定料・選考料 取扱明細書」が必要となります。  返還される金額は、振込手数料を差し引いた金額となります。</p> <p>※ 東日本大震災及び風水害等の災害に罹災した志願者については、特別措置として検定料の全額を免除します。  《検定料の免除の対象者》  1. 東日本大震災に係る特別措置  (1) 東日本大震災における災害救助法が適用されている地域で罹災した志願者で、以下のいずれかに該当する者</p>

書 類	摘 要
検 定 料	<p>①学資負担者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊又は流失した者 ②学資負担者が死亡又は行方不明の者</p> <p>(2) 学資負担者の居住地が、福島第一原子力発電所で発生した事故により、警戒区域、計画的避難区域、帰還困難区域、居住制限区域及び避難指示解除準備区域に指定された者</p> <p>2. 風水害等の災害に係る特別措置</p> <p>(1) 出願期限の日から前1年以内に発生した風水害等の災害において、災害救助法が適用されている地域で罹災した志願者で、以下のいずれかに該当する者 ①学資負担者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊又は流失した者 ②学資負担者が死亡又は行方不明の者</p> <p>(2) 本学が指定する風水害等の災害における「災害救助法適用地域」については、本学ホームページ（入試案内&gt;関連情報）を御確認ください。 上記に該当される方は、当該「検定料免除申請書」を本学ホームページ（入試案内&gt;関連情報）からダウンロードし、関係書類を添え出願書類に同封して申請してください。書類の提出に関する問合せ等は、平日 8 時30分から17時15分の間に学務部学生受入課【電話027-220-7149】まで連絡してください。 URL : (<a href="http://www.gunma-u.au.jp">http://www.gunma-u.au.jp</a>)</p>
宛 名 票	様式12 ※印欄以外は全部記入してください。
住民票の写し	日本国に永住権を有する外国籍の者は、市区町村長の発行する「個人番号が記載されていない住民票の写し(国籍、在留資格が記載されたもの)」を提出してください。
実技試験に関する届出用紙 (教育学部音楽専攻志願者のみ)	様式14 志願者本人が自筆したもの。
作品制作証明書 及び 美術活動調査書 (教育学部美術専攻志願者のみ)	<p>様式15、16 以下のとおり作成し、まとめて角形3号封筒に入れ、厳封したもの。</p> <p>(様式15) 作品制作証明書は、志願者本人が出身学校在籍中に制作した作品の写真(1作品につき写真1枚)を作品写真貼付欄に貼り付け、必要事項を記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5点以内とする。</li> <li>・ 作品の分野は問わない。</li> <li>・ 裏面の特記事項等は、記載責任者(※)が記入する。</li> </ul> <p>(様式16) 美術活動調査書は、作品制作証明書を基に出身学校長が作成する。</p> <p>※ 記載責任者になれる者は、志願者が在籍する出身学校で美術又は工芸の授業を担当している者。</p>
入選・入賞を確認できる資料等 (教育学部美術専攻志願者のみ)	特に様式は指定せず、コピーでもよいが、「作品制作証明書」の内容を確認できるもの。
受験票等送付用封筒	送付先明記の上、362円分の切手を貼り付けてください。

- (注) 1. 出願書類に虚偽の記載をしたことが判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。
2. 受理された出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
3. 受験に関する質問等は、学生受入課入学試験係へ問合せてください。
4. 受験票は、平成29年11月13日(月)(医学部医学科は平成30年2月11日(日))までに到着するように送付しますが、それまでに到着しない場合は学生受入課入学試験係へ問合せってください。

## 4. 選 抜 方 法

### ◎ 教育学部

選考は、日本語による小論文・面接・実技試験（音楽専攻及び美術専攻）及び出願書類を総合して判定します。

試験等

○は課す ×は課さない

専 攻	小論文	面 接	実技試験	備 考
社 会 専 攻	○	○ 集団面接（約5名）／約30分／面接員約5名	×	
数 学 専 攻	○	○ 集団面接（5～6名）／20～25分／面接員5名／基本的な数学の知識を問うことを含む	×	
理 科 専 攻	○	○ 集団面接（4～5名）／30～40分／面接員5名／理科の専門的知識を問うこともある	×	
音 楽 専 攻	×	○ 集団面接（4～5名）／15～20分／面接員6名／基本的な音楽の知識を問うことを含む	○	24ページ「12.別記」参照 「様式14 実技試験に関する届出用紙」を願書と一緒に提出してください。
美 術 専 攻	×	○ 集団面接（4名）／約25～30分／面接員6名	○	24ページ「12.別記」参照 「様式15 作品制作証明書」に作品写真を貼り付け、必要事項を記入し、「様式16 美術活動調査書」とともに願書と一緒に提出してください。
障害児教育専攻	○	○ 集団面接（3～4名）／約30分／面接員6名	×	

(注) 面接時間は状況に応じて変わる場合があります。

試験等日時

月 日		時 間		8:20		9:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00				
		8:40		10:30				13:30												
11 月 18 日 (土)	社会専攻	受 付	諸 注 意	小論文		面接														
	数学専攻			小論文		面接														
	理科専攻			小論文		面接														
	音楽専攻			実技・面接																
	美術専攻			実技				面接												
	障害児教育専攻			小論文		面接														

- (注) 1 受験者の入構開始時刻は8時です。諸注意等があるので試験開始30分前までには、定められた試験室に入室してください。  
2 遅刻した者は、志望する専攻の試験開始後 30 分までは受験を認めず。ただし、試験時間は延長しません。

試験場

試 験 場	所 在 地	試験場までの交通案内
群 馬 大 学 教 育 学 部	前橋市荒牧町4-2	36ページ「試験場までの交通案内」参照

(注) 試験当日における付添者の試験場への入構は、ご遠慮願います。

### ◎ 社会情報学部

選考は、日本語による小論文・面接・学力テスト（数学及び英語）及び出願書類を総合して判定します。

試験等

○は課す ×は課さない

小 論 文	面 接	学力テスト	備 考
○	○ 個人面接／15分／面接員複数	○ 数学及び英語	

(注) 面接時間は状況に応じて変わる場合があります。

試験等日時

時間	8:20	9:00		11:00	11:20	12:20	13:50
月 日		8:50		11:10		13:40	
11月18日(土)	受付	諸注意	小論文	諸注意	学力テスト	諸注意	面接 面接の終了時刻は、遅くなる場合があります。

- (注) 1 受験者の入構開始時刻は8時です。諸注意等があるので試験開始30分前までには、定められた試験室に入室してください。  
2 遅刻した者は、試験開始後30分までは受験を認めず。ただし、試験時間は延長しません。

試験場

試験場	所在地	試験場までの交通案内
群馬大学 社会情報学部	前橋市荒牧町4-2	36ページ「試験場までの交通案内」参照

(注) 試験当日における付添者の試験場への入構は、ご遠慮願います。

◎ 医学部医学科

選考は、数学、理科、小論文、面接及び出願書類を総合して判定します。(大学入試センター試験は課しません。)

なお、帰国生入試の出願要件(3)①～④の資格取得者(国際バカロレア資格等取得者)、TOEIC、TOEFL等の語学検定取得者は、出願時に成績・スコアを提出することにより総合判定の参考とします。

教科・科目等		出題意図
数 学	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B	数学的な知識、能力(計算力、数理的思考力)が備わっているか判断します。
理 科	物基、物、化基、化	・物理に関する基礎的な知識をみるとともに、基礎的な知識を用いて問題を解析し、的確に表現する総合的な能力を評価します。 ・高等学校で学ぶ「化学基礎」及び「化学」から幅広く出題し、化学に関する学習内容の理解度を評価します。
小論文	理系と英語の能力を問うことがあります。	自然科学、人間科学などの勉学に必要な理解力、思考力、文章表現力などを含む総合力を判定する問題を課します。なお、英文の資料を用いて出題することがあります。
面 接	個人面接/25分/ 面接員複数	医学を学び、将来は医学・医療に携わって社会に貢献する人材としてふさわしい人格と適性を評価します。

(注) 面接時間は状況に応じて変わる場合があります。

試験等日時

月 日	9:00		12:40		15:40		
	8:00	9:30	11:30	13:00	15:00	16:00	17:30
2月25日(日)	受付	諸注意	数学	諸注意	理科	諸注意	小論文
2月26日(月)	受付 諸注意 面接 面接の詳細については2月25日(日)に通知します。						

- (注) 1 諸注意等があるので試験開始30分前までには、定められた試験室に入室してください。  
 2 遅刻した者は、試験開始後30分(面接は集合時刻の30分後)までは受験を認めません。ただし、試験時間は延長しません。  
 3 面接試験時に追加の資料提出は認めません。

試験場

試験場	所在地	試験場までの交通案内
群馬大学 医学部	前橋市昭和町3-39-22	37ページ「試験場までの交通案内」参照

(注) 試験当日における付添者の試験場への入構は、ご遠慮願います。

◎ 医学部保健学科

選考は、小論文Ⅰ(英語による出題)・小論文Ⅱ(文系の出題)・小論文Ⅲ(理系の出題)、面接及び出願書類を総合して判定します。

試験等

○は課す ×は課さない

小論文	面接	備考
○	○ 個人面接 / 20分 / 面接員複数	

(注) 面接時間は状況に応じて変わる場合があります。

試験等日時

月 日	8:40		9:30 10:00		12:00		13:30		14:30	
			9:40				13:10			
11月17日(金)	受付	諸注意	小論文(Ⅰ・Ⅱ)		諸注意	小論文(Ⅲ)				
11月18日(土)	面接 面接の詳細については11月17日(金)に通知します。									

- (注) 1 諸注意等があるので試験開始30分前までには、定められた試験室に入室してください。  
 2 遅刻した者は、試験開始後30分(面接は集合時刻の30分後)までは受験を認めません。ただし、試験時間は延長しません。

## 試験場

試験場	所在地	試験場までの交通案内
群馬大学 医学部	前橋市昭和町3-39-22	37ページ「試験場までの交通案内」参照

(注) 試験当日における付添者の試験場への入構は、ご遠慮願います。

## ◎ 理工学部

選考は、出願書類、面接、日本語による小論文（機械知能システム理工学科のみ）を総合して判定します。

## 試験等

○は課す ×は課さない

学 科	小論文	面 接	備 考
化学・生物化学科	×	○ 個人面接／20分程度／面接員複数／理工学教育を受けるための基礎能力に関する口頭試問を含む	面接・小論文の結果に著しく不良のものがあった場合は、その他の結果にかかわらず不合格となることがあります。
機械知能システム理工学科	○ 理工学教育を受けるための基礎能力に関することを含む	○ 個人面接／15～20分／面接員複数／理工学教育を受けるための基礎能力に関する口頭試問を含む	
環境創生理工学科	×	○ 個人面接／約20分／面接員複数／理工学教育を受けるための基礎能力に関する口頭試問を含む	
電子情報理工学科	×	○ 個人面接／約20分／面接員複数／理工学教育を受けるための基礎能力に関する口頭試問を含む	

(注) 面接時間は状況に応じて変わる場合があります。また、面接時間の長さは可否には影響しません。

## 試験等日時

月 日	時 間	
	8:00	9:00
11月22日(水)	受 付	諸 注 意
面 接 小 論 文 (機械知能システム理工学科) 試験時間割等については、受験票送付時に通知します。		

- (注) 1 受験者の入構開始時刻は8時です。諸注意等があるので試験開始30分前までには、定められた試験室に入室してください。  
 2 遅刻した者は、試験開始後30分までは受験を認めず。ただし、試験時間は延長しません。

## 試験場

試験場	所在地	試験場までの交通案内
群馬大学 理工学部	桐生市天神町1-5-1	38ページ「試験場までの交通案内」参照

(注) 試験当日における付添者の試験場への入構は、ご遠慮願います。

## 5. 障害等のある入学志願者との事前相談について

本学では障害等のある学生への修学支援を行っております。

障害等があって、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、あらかじめ本学と相談してください。

(1) 相談の時期

◎教育学部、社会情報学部、医学部保健学科、理工学部

平成29年10月2日(月)までとしますが、なるべく早い時期に相談してください。

◎医学部医学科

平成29年11月10日(金)までとしますが、なるべく早い時期に相談してください。

(2) 相談の方法

本学所定の相談書(本学ホームページ参照 <http://www.gunma-u.ac.jp/admission/adm001/g2117>)に医師の診断書等必要書類を添付して提出してください。

必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る方との面談等を行います。

(3) 相談書送付先

〒371-8510 前橋市荒牧町4-2 電話：027-220-7150

群馬大学学務部学生受入課入学試験係

## 6. 合格者の発表

選考結果は、教育学部、社会情報学部、医学部保健学科、理工学部においては平成29年12月5日(火)、医学部医学科においては平成30年3月7日(水)付けで合格者本人に郵便(発表当日の発送)で通知します。併せて、合格者の受験番号を本学ホームページ(入試案内)に同日の10時以降から入学手続日まで掲載します。

群馬大学ホームページ：<http://www.gunma-u.ac.jp/>

大学構内での掲示等はいりません。

なお、合否についての電話による問合せには、応じません。

## 7. 受験心得

- (1) 「帰国生入試受験票」を必ず持参し、試験場に入構の際、提示してください。なお、合格後、入学手続の際にも必要となりますので大切に保管してください。
- (2) 試験室では、「帰国生入試受験票」記載の受験番号と同じ番号の席に着いてください。
- (3) 試験中は、監督者の指示に従ってください。
- (4) 不正行為を行った者は、失格とします。
- (5) 試験時間中に日常生活騒音等(監督者の巡回による足音・監督業務上必要な打ち合わせなど、航空機・救急車・自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、周囲の建物のチャイム音など)が発生した場合でも救済措置は行いません。
- (6) その他の諸注意は、受験票裏面の「受験心得」を確認してください。



## 8. 入学手続等

「合格通知書」とともに同封する「入学手続案内」を参照し、次のとおり入学手続を行ってください。

### (1) 入学手続期間

- ◎教育学部、社会情報学部、医学部保健学科、理工学部  
平成29年12月6日(水)から12月12日(火)までに郵送必着
- ◎医学部医学科  
平成30年3月15日(木)までに郵送必着

### (2) 入学手続に必要なもの

- ① 入学料 282,000円  
(注) ア. 入学時に入学料の改定が行われた場合は、改定金額を適用します。  
イ. 入学料の納入方法等は、別途連絡します。  
ウ. 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ② 本学の受験票
- ③ 入学手続案内で指示するもの

### (3) 入学後に必要な納付金

- ① 授業料 前期分 267,900円 年額 535,800円  
(注) ア. 入学時および在学中改定が行われた場合は、改定金額を適用します。  
イ. 授業料の納入方法等は、別途連絡します。  
ウ. 授業料の納入については、希望により入学料の納入の際に、前期分又は前期分・後期分を合わせて納入することができます。  
エ. 授業料を納入した入学手続完了者が、平成30年3月31日(土)までに入学を辞退した場合は、納入した者の申し出により、所定の手続きの上、納入した授業料相当額を返還します。
- ② 入学料、授業料の他に、各学部等で次の諸経費があります(納入日等は後日指示されます。なお、金額は予定であり、入学時及び在学中に改定が行われる場合があります)。

教育学部…45,660円〔内訳：教育学部同窓会学部後援部会費 35,000円／同窓会入会金 2,000円／学生教育研究災害傷害保険料 3,300円／学研災付帯賠償責任保険料 1,360円／荒牧クラブ・サークル協議会費 4,000円〕 ※その他テキスト代として、年間25,000円程度必要になります。

社会情報学部…48,660円〔内訳：後援会費 20,000円／同窓会費 20,000円／学生教育研究災害傷害保険料 3,300円／学研災付帯賠償責任保険料 1,360円／荒牧クラブ・サークル協議会費 4,000円〕 ※その他テキスト代として、年間20,000円程度必要になります。

医学部医学科…303,300円〔内訳：後援会費 100,000円(共用試験等受験料を含む)／刀城クラブ・同窓会終身会費 170,000円／学生教育研究災害傷害保険料 4,800円／学研災付帯賠償責任保険料 3,000円／医療費補助会費 12,000円／荒牧クラブ・サークル協議会費 4,000円／学友会費 9,500円〕 ※その他テキスト代として、年間150,000円程度必要になります。

医学部保健学科…93,370円〔内訳：後援会費 40,000円／同窓会終身会費 40,000円／学生教育研究災害傷害保険料 3,370円／学研災付帯賠償責任保険料 2,000円／荒牧クラブ・サークル協議会費 4,000円／学友会費 4,000円〕 ※その他テキスト代として、年間70,000円程度必要になります。

※ 医学部学生は患者さん及び本人の感染防止のため、麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎・B型肝炎・結核等の予防接種・感染症検査を受ける必要があります。なお、検査・ワクチン接種にかかる費用は自費となります。

理 工 学 部… 68,560円〔内訳：後援会及び工業会費 50,000円／学生教育研究災害傷害保険料 3,300円／学研災付帯賠償責任保険料 1,360円／荒牧クラブ・サークル協議会費 4,000円／学友会費9,900円〕 ※その他テキスト代として、年間44,000円程度必要になります。

#### (4) 入学料免除・徴収猶予及び授業料免除・徴収猶予

① 特別な事情により学費の納入が著しく困難であると認められた者に対して、入学料又は授業料の全額若しくは半額を免除する制度があります。また、所定の納期までに入学料又は授業料の納入が困難であると認められた者に対して、入学料又は授業料の徴収を一定期間猶予することがあります。

② 東日本大震災で罹災し学費の納入が著しく困難であると認められた者に対して、入学料又は授業料を免除する制度があります。

③ 入試結果や学業成績などが特に優秀な学生（卓越した学生）に対して、各学部等からの推薦に基づき、授業料を免除する制度があります。

申請を希望する者は、群馬大学ホームページ (<http://www.gunma-u.ac.jp/>) の「入試案内」を御覧ください。

問合せ先 群馬大学学務部学生支援課学生生活係 電話：027-220-7141

#### (5) 奨学金

経済的理由により修学に困難がある、学業・人物ともに優れた学生に対し、修学を援助するために日本学生支援機構等による奨学金の貸与・給付制度があります。

希望する者は、群馬大学ホームページ (<http://www.gunma-u.ac.jp/>) の「入試案内」を御覧ください。

問合せ先 群馬大学学務部学生支援課学生生活係 電話：027-220-7142

## 9. 一般入試等への出願について

本入試において不合格となった者は、本学の他の入試又は他大学の入試に出願することができます。

大学入試センター試験を受けた者で国立大学の一般入試に出願しようとする者は、各大学の所定の方法により、「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つの、合計二つの大学・学部に出願できます。（公立大学については、協会ホームページ (<http://www.kodaikyo.org/>) 参照）

なお、本学の他の入試へ再度出願する場合でも、一般志願者と全く同様の出願手続（検定料は、17,000円、理工学部総合理工学科（フレックス制）は、10,000円）が必要です。

※本入試において、医学部医学科を受験したものについて、大学入試センター試験を受けた者で国立大学の一般入試後期日程に出願しようとする者は、各大学所定の方法により「後期日程」から一つの大学、学部に出願できます。

（本学の医学部医学科は「後期日程」を実施しません。）

## 10. 入学準備

本学では、入学手続きを行った者に対し、基礎学力維持のため、平成30年1月実施の大学入試センター試験において、入学学部が一般入試前期日程試験で課している教科・科目を自主的に受験しておくことを推奨します。

## 11. 入学願書等の記入上の注意

- (1) 黒のボールペン又は万年筆を使用してください。
- (2) 必要事項は楷書で正確に記入し、該当事項はもれなく○で囲んでください。  
なお、※印欄は記入しないでください。
- (3) 学部・学科等コード一覧

B 試験	
コード	区 分
k	帰 国 生

C 学部		D 系・学科		E 専攻	
コード	区 分	コード	区 分	コード	区 分
1	教 育 学 部	00	文化・社会系	02	社 会 専 攻
		10	自然・情報系	11	数 学 専 攻
		20	芸 術 ・ 表 現 系	12	理 科 専 攻
				21	音 楽 専 攻
22	美 術 専 攻				
2	社 会 情 報 学 部	40	教育人間科学系	43	障 害 児 教 育 専 攻
		10	社 会 情 報 学 科	00	
3	医 学 部	20	医 学 科	00	
		30	保 健 学 科	31	看 護 学 専 攻
				32	検 査 技 術 科 学 専 攻
				33	理 学 療 法 学 専 攻
34	作 業 療 法 学 専 攻				
4	理 工 学 部	40	化 学 ・ 生 物 化 学 科	00	
		41	機 械 知 能 シ ス テ ム 理 工 学 科		
		42	環 境 創 生 理 工 学 科		
		43	電 子 情 報 理 工 学 科		

## 12. 別 記

## 教育学部実技試験の内容等

## ○ 音楽専攻

声楽試験と器楽試験を次のとおり行います。選択事項を「様式14 実技試験に関する届出用紙（教育学部 音楽専攻志願者用）」の所定の欄に記入の上、出願書類とともに提出してください。

## 声楽試験

次の(1)、(2)を演奏してください。

(1) コールユーブンゲン 視唱

コールユーブンゲン 第1巻 (No. 1～No.87) より当日1曲指定します。

【注】※ 以下の楽譜を参考にしてください。(試験において使用する楽譜は本学で用意します。)  
大阪開成館：『全訳コールユーブンゲン』  
音楽之友社：『コールユーブンゲン 巻1』  
全音楽譜出版社：『全訳コールユーブンゲン 1』

(2) 以下の歌曲の中から任意の1曲を原語により暗譜で演奏してください。

(a) Scarlatti, A. : Se Florindo è fedele「フロリンドが誠実なら」(変イ長調・変ロ長調)

(b) Gasparini, F. : Lasciar d'amarti「あなたへの愛を捨てることは」(ハ短調・ト短調)

【注】※ 1 出願時、調性を必ず選択してください。選択していないものは受け付けません。  
また、出願後の変更は認めません。  
※ 2 伴奏者は本学で用意します。  
※ 3 邦訳・調性は全音楽譜出版社『イタリア歌曲集1』によります。

## 器楽試験

## 選択課題

下記、(a)、(b)いずれかを選択してください。

(a) ピアノ

以下の①、②より各1曲を選び、2曲を演奏してください。演奏曲順は①→②とします。暗譜演奏で、繰り返しは省略してください。

① 任意の練習曲（ただし以下の曲集より選んでください。）

Czerny: Etudes de Mécanisme Op.849 (ツェルニー 30番練習曲)

Czerny: Schule der Geläufigkeit Op.299 (ツェルニー 40番練習曲)

Cramer=Bülow: 60 Ausgewählte Etüden (クラマー=ビューロー 60練習曲)

Moszkowski: Vingt petites études pour piano Op.91 (モシュコフスキー 20の小練習曲)

【注】※ 「ツェルニー」を「チェルニー」と表記してある楽譜もあります。

② 任意の自由曲

(b) 管、弦、打楽器（邦楽器を含む）

次の①、②を演奏してください。暗譜演奏で繰り返しは省略してください。

① 次の楽器の中から一つを選択し、中級程度以上の任意の楽曲又は練習曲を無伴奏で演奏してください。（4分程度）

管楽器：フルート、オーボエ、クラリネット、サキソフォン、ファゴット、ホルン、

トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ

弦楽器：ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

打楽器：小太鼓、マリンバ

邦楽器：箏、三味線

【注】※ 使用する楽器は各自持参してください（マリンバは大学のもの〔音域A～C 4½オクターヴ〕を使用し、マレットは持参してください）。

② 任意の楽曲又は練習曲をピアノで演奏してください。

(注) 声楽試験及び器楽試験においては、演奏を途中で打ち切ることがあります。

## ○ 美術専攻

用意された材料・用具を用いた立体造形物の制作並びにそれをモチーフとする鉛筆素描。

- ・素描のための鉛筆、消具等は、受験者が用意してください。
- ・試験時間は3時間です。

## 13. 平成30年度入試情報開示について

群馬大学では、特別入試について、次のとおり開示し提供します。

### (1) 開示する基本的情報

志願者数 受験者数 合格者数 入学者数 入学辞退者数	}	……報道機関を通じて提供するとともに、平成30年5月1日（火） 以降に、本学のホームページにて掲載します。
--	---	--

- 学力テストの試験問題及び解答例、小論文・面接の「評価のポイント」…平成30年10月頃までに、本学ホームページにて掲載します。

### (2) 閲覧による開示情報

- 入学に関する規程・規則等
- 入試実施体制

開示期間は、平成30年4月9日（月）から5月31日（木）までとします。（土・日曜日、祝休日を除く。）

## 14. 入学志願者の個人情報保護について

群馬大学では、提出された出願書類により取得した志願者の個人情報及び入学試験の実施により取得した受験者の個人情報について、「国立大学法人群馬大学保有個人情報管理規程」等に基づいて取扱い、次の目的以外には利用しません。

- 入学者選抜に関する業務（統計処理などの付随する業務を含む。）
- 入学手続完了者にあつては、入学者データとして入学後の就学指導業務、学生支援業務及び授業料徴収業務

なお、本学の上記業務にあたり、一部の業務を個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、外部の事業者へ委託することがあります。

## Ⅱ. 平成30年度 社会人入試学生募集要項

### 1. 社会人入試を実施する学部・学科及び募集人員

学 部	学 科	専 攻	募 集 人 員
社会情報学部	社会情報学科		若 干 名
医 学 部	保 健 学 科	看 護 学 専 攻	若 干 名
		検 査 技 術 科 学 専 攻	
		理 学 療 法 学 専 攻	
		作 業 療 法 学 専 攻	
理 工 学 部	総 合 理 工 学 科 (フ レ ッ ク ス 制)		若 干 名

- (注) 1. 上記以外の学部・学科は実施しません。  
 2. 総合理工学科（フレックス制）では、夜間開講科目の履修のみで卒業することができます。また、夜間開講の必修・選択科目と昼間開講の選択科目を履修して卒業することもできます。  
 3. 本入試は、同一日程の特別入試と併せて受験することはできません。

### 2. 社会人入試の出願要件

次の(1)～(10)までのいずれかに該当する者のうち、平成30年4月1日現在、社会情報学部及び理工学部は社会人経験（家事・家業従事者を含む）5年以上を有する年齢23歳以上の者、医学部保健学科は社会人経験（家事・家業従事者を含む）3年以上を有する年齢25歳以上の者

- (1) 高等学校を卒業した者又は平成30年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 中等教育学校を卒業した者又は平成30年3月31日までに卒業見込みの者
- (3) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）又は平成30年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者若しくは平成30年3月31日までに修了見込みの者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (5) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は平成30年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は平成30年3月31日までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）又は合格見込みの者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの

- (9) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第2項の規定により本学以外の大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (10) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの

※ 上記(9)又は(10)によって本学の出願資格を得ようとする者は、本学の入学資格審査を受け認定を得る必要があります。詳細については、本学ホームページ(<http://www.gunma-u.ac.jp>)の入試案内を参照するか、本学学務部学生受入課入学試験係[電話：027-220-7150]へ問合せてください。

### 3. 出願手続

- (1) 出願書類提出先  
〒371-8799 日本郵便株式会社 前橋中央郵便局留  
群馬大学 帰国生・社会人入試出願書類受付係
- (2) 問い合わせ先  
群馬大学学務部学生受入課入学試験係 電話：027-220-7150
- (3) 出願方法  
出願書類は一括して本学所定の封筒に入れ、必ず書留速達で郵送してください。  
普通郵便等で郵送した場合、事故があっても本学ではその責任は負いません。
- (4) 出願期間  
平成29年11月1日（水）から11月6日（月）必着とします。  
出願書類は、平成29年11月6日（月）までに必ず届くよう、郵送期間を十分考慮のうえ発送してください。ただし、出願期間後（11月7日（火）以降）に到着した場合でも、11月4日（土）までの（11月4日（土）を含む）発信局消印がある「書留速達」に限り受理します。なお、特別な事情がある場合については、平成29年10月31日（火）17時15分までに上記「(2)問い合わせ先」へ連絡してください。
- (5) 出願書類

書 類	摘 要
出願書類等確認票	全学部
入 学 願 書	様式2 必ず志願者本人が黒のボールペン又は万年筆で楷書で正確に記入し、該当事項を○で囲んでください。
志願理由書	様式17
推 薦 書	様式18 職場の上司・友人・家族などで、年齢満25歳以上の者が作成したもの。なお、理工学部志願者については、必ず就職状況を記入してください。
履 歴 書 職歴等証明書	市販の履歴書用紙（写真不要）に、社会情報学部及び理工学部志願者は過去5年間以上、医学部保健学科志願者は、過去3年間以上の職歴及び社会人としての経験を明記してください。 また、それらを証明する文書（証明書の様式は指定しません）を添付してください。

書 類	摘 要
受験承認書	現在大学に在学中の者又は官公庁・会社等に在職中の者は、所属の長の承認書（様式は指定しません）を提出してください。
高等学校等の卒業（修了）証明書等	高等学校等の卒業（修了）証明書。高等学校等の卒業（修了）以外の者については、その資格を証明するもの（高等学校卒業程度認定試験（旧検定を含む。）合格証明書等）。なお、本学の入学資格審査による認定者は、認定書の写し。 ※ 各証明書の氏名が旧姓の場合は、変更内容を確認できる公的証明書を提出してください。
照合票・受験票	様式10・11 必要事項を記入し、写真（上半身・正面・無帽 タテ4cm×ヨコ3cm 1枚：出願前3か月以内に撮影したもの）を所定の欄に貼り付けてください。
検 定 料	<p>社会情報学部、医学部保健学科 17,000円 理工学部総合理工学科（フレックス制） 10,000円</p> <p>次のいずれかの方法により支払ってください。</p> <p><b>1. 金融機関（ゆうちょ銀行を除く）からの支払い</b></p> <p>(1) 本募集要項に添付してある検定料振込用紙（様式3又は様式4）により、上記金額を必ず金融機関窓口から振り込み、「振込金受付証明書（大学提出用）」を受領してください。なお、振込手数料は振込人の負担となりますので、留意してください。</p> <p>(2) 「振込金受付証明書（大学提出用）」を貼付台紙（様式5）の所定の欄に貼り付けてください。</p> <p>(3) 「振込金受取書」は本人の控えとして、大切に保管しておいてください。</p> <p>(4) 振込取扱期間 <u>平成29年10月13日（金）～11月6日（月）15時まで</u></p> <p>(5) 金融機関出納印のないもの、金額を訂正したもの及び鉛筆書きのものは無効になります。また、ATM（現金自動預払機）、携帯電話、パソコン等からは、振り込まないでください。</p> <p><b>2. コンビニエンスストアでの支払い（パソコンやスマートフォン等のある環境で御利用ください。）</b></p> <p>(1) 75ページ「コンビニエンスストア・クレジットカードでの検定料支払方法」を参照の上、支払ってください。なお、支払手数料は支払人の負担となりますので、留意してください。</p> <p>(2) 支払後、レジにて受け取った「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、貼付台紙（様式5）の所定の欄に貼り付けてください。</p> <p>(3) 支払期間 <u>平成29年10月13日（金）～11月6日（月）15時まで（Webサイトでの申込み）は、支払期間終了30分前まで</u></p> <p><b>3. クレジットカードでの支払い（パソコンやスマートフォン等、プリンタのある環境で御利用ください。）</b></p> <p>(1) 75ページ「コンビニエンスストア・クレジットカードでの検定料支払方法」を参照の上、支払ってください。なお、支払手数料は支払人の負担となりますので、留意してください。</p> <p>(2) 支払後、「入学検定料・選考料 取扱明細書」を印刷し、「収納証明書」部分を切り取り、貼付台紙（様式5）の所定の欄に貼り付けてください。</p> <p>(3) 支払期間 <u>平成29年10月13日（金）～11月6日（月）15時まで</u></p> <p>※ 既納の検定料は原則として返還しません。 ただし、検定料を振り込み後、本学に出願しなかった場合又は書類の不備等により受理されなかった場合、あるいは重複振り込み等所定の金額より多く振り込んだ場合は、下記手順により返還します。 返還に当たっては便せん等を用い、次のア～オを明記した「検定料返還申出書」を作成して群馬大学財務部経理課へ郵送してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">群馬大学社会人入試検定料返還申出書</p> <p>ア. 返還申出の理由 イ. 氏名（フリガナ） ウ. 郵便番号、現住所 エ. 連絡電話番号 オ. 志望学部</p> </div>



書 類	摘 要
検 定 料	<p>返還申出書送付先 〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2 群馬大学財務部経理課収入係 電話：027-220-7062</p> <p>返還手続を行う際に、「振込金受取書」又は「入学検定料・選考料 取扱明細書」が必要となります。 返還される金額は、振込手数料を差し引いた金額となります。</p> <p>※ 東日本大震災及び風水害等の災害に罹災した志願者については、特別措置として検定料の全額を免除します。</p> <p>《検定料の免除の対象者》</p> <p>1. 東日本大震災に係る特別措置</p> <p>(1) 東日本大震災における災害救助法が適用されている地域で罹災した志願者で、以下のいずれかに該当する者</p> <p>①学資負担者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊又は流失した者</p> <p>②学資負担者が死亡又は行方不明の者</p> <p>(2) 学資負担者の居住地が、福島第一原子力発電所で発生した事故により、警戒区域、計画的避難区域、帰還困難区域、居住制限区域及び避難指示解除準備区域に指定された者</p> <p>2. 風水害等の災害に係る特別措置</p> <p>(1) 出願期限の日から前1年以内に発生した風水害等の災害において、災害救助法が適用されている地域で罹災した志願者で、以下のいずれかに該当する者</p> <p>①学資負担者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊又は流失した者</p> <p>②学資負担者が死亡又は行方不明の者</p> <p>(2) 本学が指定する風水害等の災害における「災害救助法適用地域」については、本学ホームページ（入試案内&gt;関連情報）を御確認ください。</p> <p>上記に該当される方は、当該「検定料免除申請書」を本学ホームページ（入試案内&gt;関連情報）からダウンロードし、関係書類を添え出願書類に同封して申請してください。書類の提出に関する問合せ等は、平日8時30分から17時15分間に学務部学生受入課【電話027-220-7149】まで連絡してください。</p> <p>URL：(<a href="http://www.gunma-u.ac.jp">http://www.gunma-u.ac.jp</a>)</p>
宛 名 票	様式12 ※印欄以外は全部記入してください。
受験票等送付用封筒	送付先明記の上、362円分の切手を貼り付けてください。

- (注) 1. 出願書類に虚偽の記載をしたことが判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。
2. 受理された出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
3. 受験に関する質問等は、学生受入課入学試験係へ問合せください。
4. 受験票は、平成29年11月13日（月）までに到着するように送付しますが、それまでに到着しない場合は学生受入課入学試験係へ問合せください。

## 4. 選 抜 方 法

### ◎ 社会情報学部

選考は、小論文・面接・学力テスト（数学及び英語）及び出願書類を総合して判定します。

試験等

○は課す ×は課さない

小論文	面接	学力テスト	備考
○	○ 個人面接 / 15分 / 面接員複数	○ 数学及び英語	

(注) 面接時間は状況に応じて変わる場合があります。

試験等日時

月 日	8:20		9:00	11:00		11:20	12:20		13:50
	8:50			11:10			13:40		
11月18日(土)	受	諸	小論文	諸	学	諸	面接 面接の終了時刻は、遅くなる場合があります。		

- (注) 1 受験者の入構開始時刻は8時です。諸注意等があるので試験開始30分前までには、定められた試験室に入室してください。  
2 遅刻した者は、試験開始後30分までは受験を認めません。ただし、試験時間は延長しません。

試験場

試験場	所在地	試験場までの交通案内
群馬大学 社会情報学部	前橋市荒牧町4-2	36ページ「試験場までの交通案内」参照

### ◎ 医学部保健学科

選考は、小論文Ⅰ(英語による出題)・小論文Ⅱ(文系の出題)・小論文Ⅲ(理系の出題)、面接及び出願書類を総合して判定します。

試験等

○は課す ×は課さない

小論文	面接	備考
○	○ 個人面接 / 20分 / 面接員複数	

(注) 面接時間は状況に応じて変わる場合があります。

試験等日時

時間	8:40	9:30	10:00	12:00	13:30	14:30
月 日		9:40			13:10	
11月17日(金)	受 付	諸 注 意	小論文 (Ⅰ・Ⅱ)		諸 注 意	小論文 (Ⅲ)
11月18日(土)	面 接 面接の詳細については11月17日(金)に通知します。					

- (注) 1 諸注意等があるので試験開始30分前までには、定められた試験室に入室してください。  
 2 遅刻した者は、試験開始後30分(面接は集合時刻の30分後)までは受験を認めず。ただし、試験時間は延長しません。

試験場

試験場	所在地	試験場までの交通案内
群馬大学 医学部	前橋市昭和町3-39-22	37ページ「試験場までの交通案内」参照

◎ 理工学部

選考は、面接・出願書類を総合して判定します。

試験等

○は課す ×は課さない

小論文	面接	備考
×	○ 個人面接/約30分/面接員複数/理工学教育を受けるための基礎能力に関する口頭試問を含む	

(注) 面接時間は状況に応じて変わる場合があります。また、面接時間の長さは可否には影響しません。

試験等日時

時間	8:00	9:00
月 日	8:30	
11月22日(水)	受 付	諸 注 意
面 接 面接の詳細については受験票送付時に通知します。		

- (注) 1 受験者の入構開始時刻は8時です。諸注意等があるので試験開始30分前までには、定められた試験室に入室してください。  
 2 遅刻した者は、試験開始後30分までは受験を認めず。ただし、試験時間は延長しません。

試験場

試験場	所在地	試験場までの交通案内
群馬大学 理工学部	桐生市天神町1-5-1	38ページ「試験場までの交通案内」参照

## 5. 障害等のある入学志願者との事前相談について

本学では障害等のある学生への修学支援を行っています。

帰国生入試の「5. 障害等のある入学志願者との事前相談について」(20ページ)を参照してください。

## 6. 合格者の発表

選考結果は、平成29年12月5日(火)付けで合格者本人に郵便(発表当日の発送)で通知します。併せて、合格者の受験番号を本学ホームページ(入試案内)に同日の10時以降から入学手続日まで掲載します。

群馬大学ホームページ：<http://www.gunma-u.ac.jp/>

大学構内での掲示等はいりません。

なお、合否についての電話による問合せには、応じません。

## 7. 受験心得

- (1) 「社会人入試受験票」を必ず持参し、試験場に入構の際、提示してください。なお、合格後、入学手続の際にも必要となりますので大切に保管してください。
- (2) 試験室では、「社会人入試受験票」記載の受験番号と同じ番号の席に着いてください。
- (3) 試験中は、監督者の指示に従ってください。
- (4) 不正行為を行った者は、失格とします。
- (5) 試験時間中に日常生活騒音等(監督者の巡回による足音・監督業務上必要な打ち合わせなど、航空機・救急車・自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、周囲の建物のチャイム音など)が発生した場合でも救済措置は行いません。
- (6) その他の諸注意は、受験票裏面の「受験心得」を確認してください。

## 8. 入学手続等

「合格通知書」とともに同封する「入学手続案内」を参照し、次のとおり入学手続を行ってください。

- (1) 入学手続期間  
平成29年12月6日(水)から12月12日(火) 郵送必着
- (2) 入学手続に必要なもの
  - ① 入学料 282,000円 [社会情報学部、医学部]  
141,000円 [理工学部総合理工学科(フレックス制)](注) ア. 入学時に入学料の改定が行われた場合は、改定金額を適用します。

- イ. 入学料の納入方法等は、別途連絡します。
- ウ. 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

- ② 本学の受験票
- ③ 入学手続案内で指示するもの

## (3) 入学後に必要な納付金

- ① 授業料 前期分 267,900円 年額 535,800円  
〔社会情報学部、医学部〕  
前期分 133,950円 年額 267,900円  
〔理工学部総合理工学科（フレックス制）〕

(注) ア. 入学時および在学中改定が行われた場合は、改定金額を適用します。

- イ. 授業料の納入方法等は、別途連絡します。
- ウ. 授業料の納入については、希望により入学料の納入の際に、前期分又は前期分・後期分を合わせて納入することができます。
- エ. 授業料を納入した入学手続完了者が、平成30年3月31日（土）までに入学を辞退した場合は、納入した者の申し出により、所定の手続きの上、納入した授業料相当額を返還します。

- ② 入学料、授業料の他に、各学部等で次の諸経費があります（納入日等は後日指示されます。なお、金額は予定であり、入学時及び在学中に改定が行われる場合があります）。  
社会情報学部… 48,660円〔内訳：後援会費 20,000円／同窓会費 20,000円／学生教育研究災害傷害保険料 3,300円／学研災付帯賠償責任保険料 1,360円／荒牧クラブ・サークル協議会費 4,000円〕 ※その他テキスト代として、年間20,000円程度必要になります。

医学部保健学科… 93,370円〔内訳：後援会費 40,000円／同窓会終身会費 40,000円／学生教育研究災害傷害保険料 3,370円／学研災付帯賠償責任保険料 2,000円／荒牧クラブ・サークル協議会費 4,000円／学友会費 4,000円〕 ※その他テキスト代として、年間70,000円程度必要になります。

※ 医学部学生は患者さん及び本人の感染防止のため、麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎・B型肝炎・結核等の予防接種・感染症検査を受ける必要があります。なお、検査・ワクチン接種にかかる費用は自費となります。

理工学部… 66,660円〔内訳：後援会及び工業会費 50,000円／学生教育研究災害傷害保険料 1,400円／学研災付帯賠償責任保険料 1,360円／荒牧クラブ・サークル協議会費 4,000円／学友会費9,900円〕 ※その他テキスト代として、年間44,000円程度必要になります。

## (4) 入学料免除・徴収猶予及び授業料免除・徴収猶予

- ① 特別な事情により学費の納入が著しく困難であると認められた者に対して、入学料又は授業料の全額若しくは半額を免除する制度があります。また、所定の納期までに入学料又は授業料の納入が困難であると認められた者に対して、入学料又は授業料の徴収を一定期間猶予することができます。
- ② 東日本大震災で罹災し学費の納入が著しく困難であると認められた者に対して、入学料又は授業料を免除する制度があります。
- ③ 入試結果や学業成績などが特に優秀な学生（卓越した学生）に対して、各学部等からの推薦に基づき、授業料を免除する制度があります。

申請を希望する者は、群馬大学ホームページ（<http://www.gunma-u.ac.jp/>）の「入試案内」を御覧ください。

問合せ先 群馬大学学務部学生支援課学生生活係 電話：027-220-7141

## (5) 奨学金

経済的理由により修学に困難がある、学業・人物ともに優れた学生に対し、修学を援助するために日本学生支援機構等による奨学金の貸与・給付制度があります。

希望する者は、群馬大学ホームページ (<http://www.gunma-u.ac.jp/>) の「入試案内」を御覧ください。

問合せ先 群馬大学学務部学生支援課学生生活係 電話：027-220-7142

## 9. 一般入試等への出願について

本入試において不合格となった者は、本学の他の入試又は他大学の入試に出願することができます。

大学入試センター試験を受験した者で国立大学の一般入試に出願しようとする者は、各大学の所定の方法により、「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つの、合計二つの大学・学部に出願できます。(公立大学については、協会ホームページ (<http://www.kodaikyo.org/>) 参照)

なお、本学の他の入試へ再度出願する場合でも、一般志願者と全く同様の出願手続(検定料は17,000円、理工学部総合理工学科(フレックス制)は10,000円)が必要です。

## 10. 入学準備

本学では、入学手続を行った者に対し、基礎学力維持のため、平成30年1月実施の大学入試センター試験において、入学学部が一般入試で課している教科・科目を自主的に受験しておくことを推奨します。

## 11. 入学願書等の記入上の注意

- (1) 黒のボールペン又は万年筆を使用してください。
- (2) 必要事項は楷書で正確に記入し、該当事項はもれなく○で囲んでください。  
なお、※印欄は記入しないでください。
- (3) 学部・学科等コード一覧

B 試験	
コード	区 分
s	社会人

C 学部		D 系・学科		E 専攻	
コード	区 分	コード	区 分	コード	区 分
2	社会情報学部	10	社会情報学科	00	
3	医 学 部	30	保 健 学 科	31	看護学専攻
				32	検査技術科学専攻
				33	理学療法学専攻
				34	作業療法学専攻
5	理 工 学 部 (フレックス制)	50	総合理工学科 (フレックス制)	00	

## 12. 平成30年度入試情報開示について

群馬大学では、特別入試について、次のとおり開示し提供します。

(1) 開示する基本的情報

志願者数  
受験者数  
合格者数  
入学者数  
入学辞退者数

……報道機関を通じて提供するとともに、平成30年5月1日（火）以降に、本学のホームページにて掲載します。

- 学力テストの試験問題及び解答例、小論文・面接の「評価のポイント」…平成30年10月頃までに、本学のホームページにて掲載します。

(2) 閲覧による開示情報

- 入学に関する規程・規則等
- 入試実施体制

開示期間は、平成30年4月9日（月）から5月31日（木）までとします。（土・日曜日、祝休日を除く。）

## 13. 入学志願者の個人情報保護について

群馬大学では、提出された出願書類により取得した志願者の個人情報及び入学試験の実施により取得した受験者の個人情報について、「国立大学法人群馬大学保有個人情報管理規程」等に基づいて取扱い、次の目的以外には利用しません。

- 入学者選抜に関する業務（統計処理などの付随する業務を含む。）
- 入学手続完了者にあつては、入学者データとして入学後の就学指導業務、学生支援業務及び授業料徴収業務

なお、本学の上記業務にあたり、一部の業務を個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、外部の事業者へ委託することがあります。

◎ 受験の際の宿泊について

群馬大学では、受験の際の宿泊施設等の斡旋は行いません。

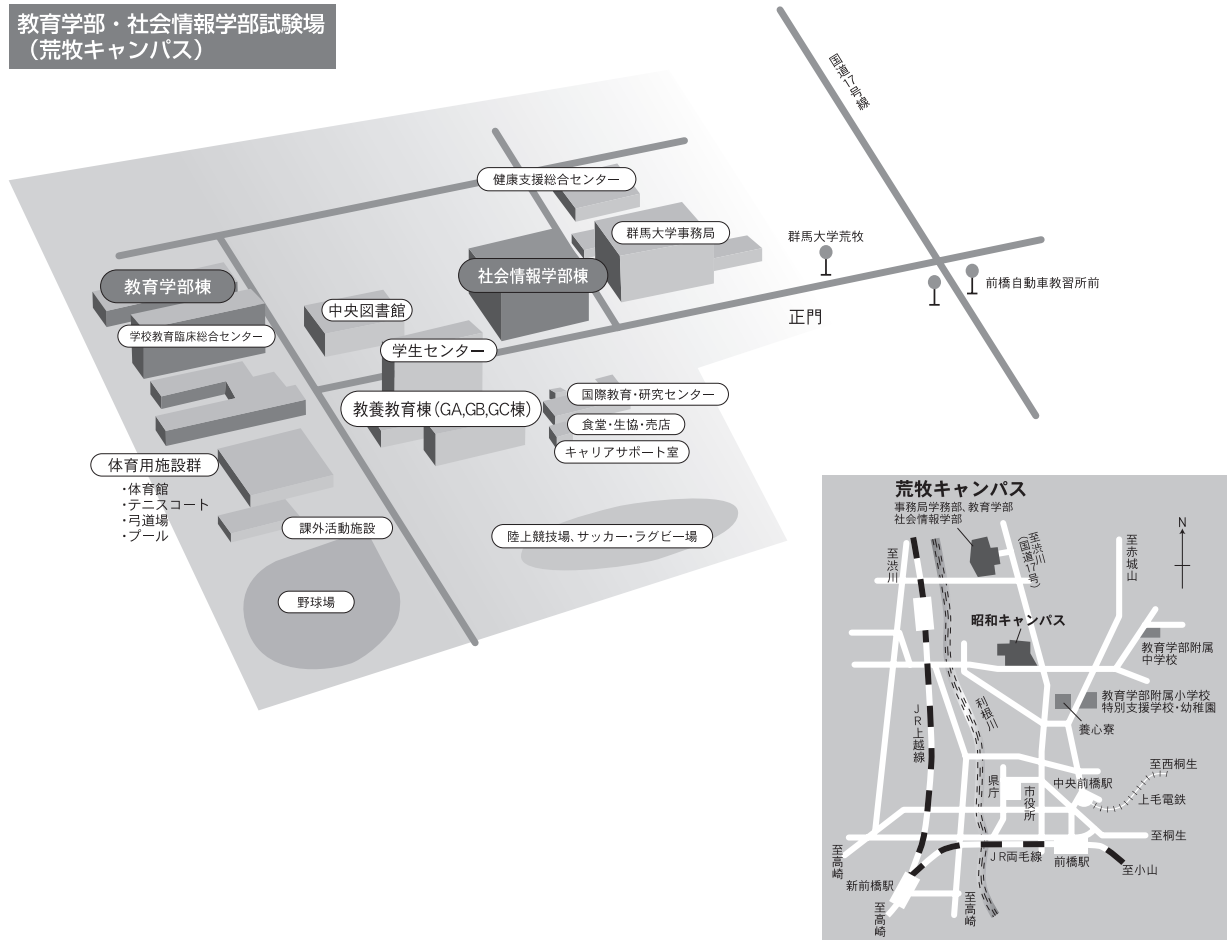
◎ 試験場までの交通案内

○ 教育学部、社会情報学部

乗車場所	バス行き先案内表示	下車停留所	所要時間	備考
JR両毛線 前橋駅北口 2番乗り場	・群馬大学荒牧經由渋川市内循環渋川駅行 ・群馬大学荒牧經由渋川駅行 ・群馬大学荒牧經由小児医療センター行	群馬大学荒牧	約28分	関越交通 バス
	・渋川市内循環渋川駅行 ・渋川駅行 ・小児医療センター行	前橋自動車教習所前	約25分徒歩10分	
JR上越線 渋川駅前	・群馬大学荒牧經由前橋駅行 ・渋川市内循環群馬大学荒牧經由前橋駅行	群馬大学荒牧	約28分	関越交通 バス
	・前橋駅行 ・渋川市内循環前橋駅行	前橋自動車教習所前	約25分徒歩10分	

- ※ 試験場への自動車・オートバイ等の乗入れは、禁止します。
- ※ JR群馬総社駅及びJR新前橋駅からは、荒牧キャンパスを経由するバスはありませんので、注意してください。
- ※ 公共交通機関の運行状況は必ず最新の情報を確認し、集合時刻までに到着できるよう十分に余裕を持って試験場へお越しください。

教育学部・社会情報学部試験場  
(荒牧キャンパス)



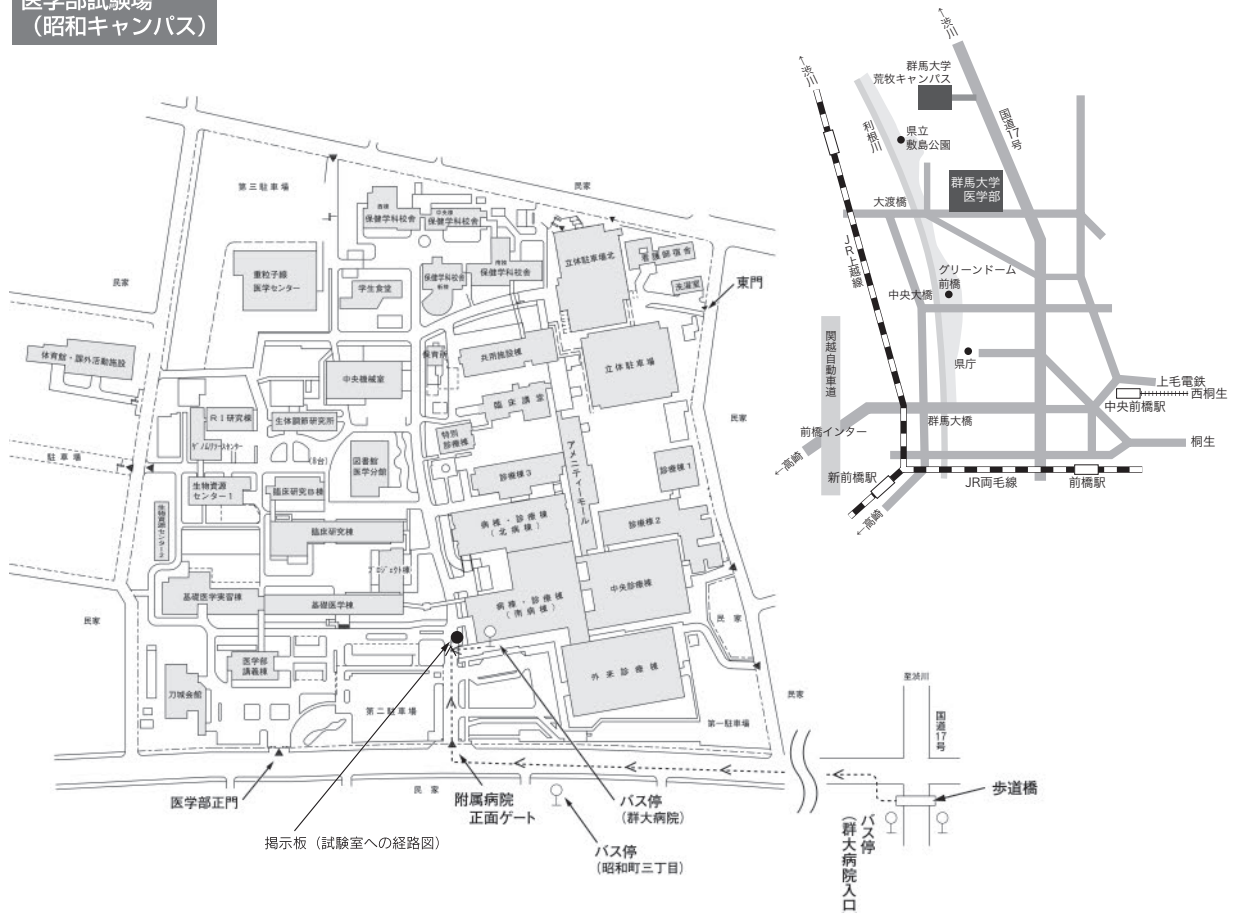


○ 医 学 部

乗車場所	バス行き先案内表示	下車停留所	所要時間	備 考
JR両毛線 前橋駅北口 2番乗り場	・ 群大病院行 ・ 群大病院経由群馬大学荒牧行 (南橋団地経由含む)	群大病院	約15分	関越交通バス
	・ 渋川市内循環渋川駅行 (群馬大学荒牧経由) ・ 渋川駅行 (群馬大学荒牧経由含む) ・ 小児医療センター行 (群馬大学荒牧経由含む)	群大病院入口	約13分徒歩6分	
JR上越線 渋川駅前	・ 前橋駅行 (渋川市内循環、群馬大学荒牧経由含む)	群大病院入口	約30分徒歩6分	関越交通バス

- ※ 試験場への自動車・オートバイ等の乗入れは、禁止します。
- ※ JR群馬総社駅及び新前橋駅からは、昭和キャンパスを経由するバスはありませんので、注意してください。
- ※ 公共交通機関の運行状況は必ず最新の情報を確認し、集合時刻までに到着できるよう十分に余裕を持って試験場へお越しください。

医学部試験場  
(昭和キャンパス)



○ 理工学部

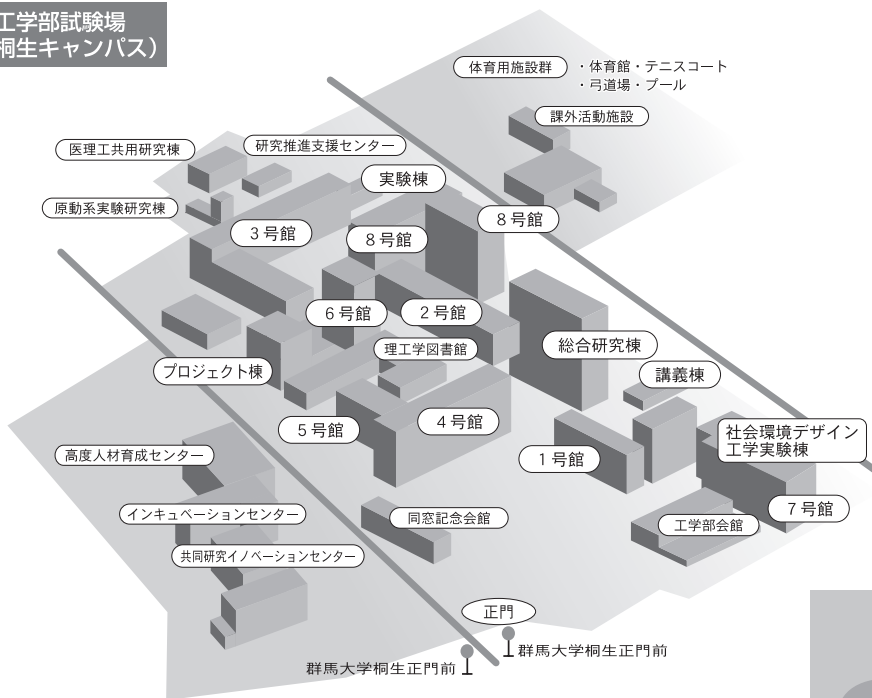
JR両毛線桐生駅下車、北方へ2.5Km

東武桐生線新桐生駅下車、北方へ4.1Km

乗車場所	バス行き先案内表示	下車停留所	所要時間
JR両毛線桐生駅北口 おりひめバス「桐生駅北口」	桐生女子高前行 上菱団地行	「群馬大学桐生正門前」	約7分
JR両毛線桐生駅北口から徒歩約10分 おりひめバス「本町五丁目」	梅田ふるさとセンター前行		約4分
東武桐生線新桐生駅 おりひめバス「新桐生駅」	桐生女子高前行 上菱団地行	「群馬大学桐生正門前」	約15分

- ※ 試験場への自動車・オートバイ等の乗入れは、禁止します。
- ※ 公共交通機関の運行状況は必ず最新の情報を確認し、集合時刻までに到着できるよう十分に余裕を持って試験場へお越しください。
- ※ 理工学部は、平成25年4月に工学部を改組して設置された学部ですが、施設の名称が「工学部」となっている場合がありますので、御留意ください。

理工学部試験場  
(桐生キャンパス)



受付場所は、各志願者に受験票を送付する際に同封する試験場案内図を参照してください。



## 必ずお読みください

### 各学科・専攻の教育ポリシー

#### 教育学部

##### 〔社会専攻〕

入学受入方針（アドミッション・ポリシー）～このような人を求めています～

##### <人材育成の目標>

優れた人間性と豊かな教養を有し、各教科についての深い認識と実践的な指導力を身に付けた、地域の教育界の発展に貢献できる教員の養成を目指します。

##### <入学者に求める能力・資質>

- 1 高等学校の教育課程、特に地理歴史科及び公民科の諸科目について、大学教育を受けるにふさわしい総合的理解がある人
- 2 人間社会の諸問題に幅広い探究心を持っている人
- 3 自らのことばで表現・発信しながらさまざまな立場の人々と積極的に議論できる人

##### <入学に際し必要な基礎学力>

- 高等学校で「世界史B」、「日本史B」、「地理B」のうち2科目以上を履修していることが望ましい。
- 高等学校で「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」のうち2科目以上を履修していることが望ましい。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

##### <教育の目標>

- 1 幅広く深い教養と社会科教育及び教職に関する深遠な専門知識を身に付けられる教育
- 2 社会科教員として、思考力や表現力、課題解決能力、創造的な探究能力を身に付けられる教育
- 3 教員免許状を取得できる専門知識と実践的指導力を身に付けられる教育
- 4 教員として必要なコミュニケーション能力を身に付けられる教育

##### <教育課程の構成>

- 1 初年次を中心に編成された、教養基盤科目、教養育成科目からなる教養教育により、学士力、幅広く深い教養、総合的な判断力等を育成し、教員としての基礎的素養を身に付ける教育を展開する。
- 2 上記1を基盤として、社会専攻の教育目標を達成するための専門教育をカリキュラムマップに則って系統的に行う。  
具体的に専門科目では、

- (1) 教科専門科目  
社会科専門科目の内容に関し深い学識を身に付ける。
- (2) 教職専門科目  
教育の本質、教育課程、社会科・地理歴史科・公民科指導法、生徒指導、教育相談に関する理論・方法・技術について学ぶ。
- (3) 総合的・実践的専門科目  
複数の教科にまたがる総合的な内容・テーマ、教育現場における実践的な課題・方法について学ぶ。また、フレンドシップ教育実践・野外体験に関する科目を通して体験的に上記の課題・方法について学ぶ。
- (4) 教育実習関連科目  
教育現場体験学習、授業実践基礎学習、小学校・中学校における教育実習を通じて実践的指導力を養う。  
上記科目区分で、講義・演習・実習を行い、教育現場での実践力を養う。

#### <教育内容・方法>

- 1 学生の主体的・能動的な参加に基づいた講義科目・演習科目・実習科目の開設
- 2 シラバスに詳述されたカリキュラムを構成する授業科目の目標・内容・教育方法・評価方法等に基づいた授業の展開
- 3 シラバス記載の目標の達成に向けた、講義時間外の自己学習(予習・復習)の督促
- 4 実践力指導力を養うための教育実習の実施

#### <学修成果の評価>

学修成果の評価は、各科目についてはシラバス記載の成績(達成度)評価基準に基づいて行い、学則に従いS、A、B、C、Dの5段階での判定とこれを基にしたGPAの決定を行う。

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)～このような人材を育てます～

#### <学位授与の条件、達成度・能力評価の基準>

- 1 所定の年限在籍し、かつ専攻の定める単位を修得した者
- 2 社会科専門科目の内容に関し必要な知識を備える者
- 3 教員に必要な知識と実践的指導力を備え、高い倫理観を持つ者

#### <学修成果の目標>

- 1 日本史及び外国史、地理学、法律学、政治学、社会学、経済学、哲学、倫理学についての専門的知識を修得していること。
- 2 小学校及び中学校の教員としての基礎知識を修得し、実践的指導力を身に付けていること。
- 3 現代の社会における教育の意義、学校の役割、教育に関する諸問題について、確かな見識を有していること。
- 4 他者との協調性を身に付け、多様な人々と協働して、課題に取り組むためのコミュニケーション能力を身に付けていること。

## 〔数学専攻〕

## 入学受入方針（アドミSSION・ポリシー）～このような人を求めています～

## ＜人材育成の目標＞

優れた人間性と豊かな教養を有し、各教科についての深い認識と実践的な指導力を身に付けた、地域の教育界の発展に貢献できる教員の養成を目指します。

## ＜入学者に求める能力・資質＞

- 1 高等学校の教育課程、特に自然科学分野について総合的理解のある人
- 2 論理的で柔軟な思考能力を持っている人
- 3 主体的に学ぶ姿勢を持ち、新しい課題に積極的に取り組む意欲のある人

## ＜入学に際し必要な基礎学力＞

数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・Bを履修していること。

## 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

## ＜教育の目標＞

- 1 幅広く深い教養と数学教育及び教職に関する深遠な専門知識を身に付けられる教育
- 2 数学科教員として、思考力や表現力、課題解決能力、創造的な探究能力を身に付けられる教育
- 3 教員免許状を取得できる専門知識と実践的指導力を身に付けられる教育
- 4 教員として必要なコミュニケーション能力を身に付けられる教育

## ＜教育課程の構成＞

- 1 初年次を中心に編成された、教養基盤科目、教養育成科目からなる教養教育により、学士力、幅広く深い教養、総合的な判断力等を育成し、教員としての基礎的素養を身に付ける教育を展開する。
- 2 上記1を基盤として、数学専攻の教育目標を達成するための専門教育をカリキュラムマップに則って系統的に行う。

具体的に専門科目では、

- (1) 教科専門科目  
数学科専門科目の内容に関し深い学識を身に付ける。
- (2) 教職専門科目  
教育の本質、教育課程、数学科指導法、生徒指導、教育相談に関する理論・方法・技術について学ぶ。
- (3) 総合的・実践的専門科目  
複数の教科にまたがる総合的な内容・テーマ、教育現場における実践的な課題・方法について学ぶ。また、フレンドシップ教育実践・野外体験に関する科目を通して体験的に上記の課題・方法について学ぶ。
- (4) 教育実習関連科目  
教育現場体験学習、授業実践基礎学習、小学校・中学校における教育実習を通じて実践的指導力を養う。

上記科目区分で、講義・演習・実習を行い、教育現場での実践力を養う。

<教育内容・方法>

- 1 学生の主体的・能動的な参加に基づいた講義科目・演習科目・実習科目の開設
- 2 シラバスに詳述されたカリキュラムを構成する授業科目の目標・内容・教育方法・評価方法等に基づいた授業の展開
- 3 シラバス記載の目標の達成に向けた、講義時間外の自己学習(予習・復習)の督励
- 4 実践的指導力を養うための教育実習の実施

<学修成果の評価>

学修成果の評価は、各科目についてはシラバス記載の成績(達成度)評価基準に基づいて行い、学則に従いS、A、B、C、Dの5段階での判定とこれを基にしたGPAの決定を行う。

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)～このような人材を育てます～
-----------------------------------

<学位授与の条件、達成度・能力評価の基準>

- 1 所定の年限在籍し、かつ専攻の定める単位を修得した者
- 2 数学科専門科目の内容に関し必要な知識を備える者
- 3 教員に必要な知識と実践的指導力を備え、高い倫理観を持つ者

<学修成果の目標>

- 1 代数学、幾何学、解析学、確率論、統計学、コンピューターについての専門的知識を修得していること。
- 2 小学校及び中学校の教員としての基礎知識を修得し、実践的指導力を身に付けていること。
- 3 現代の社会における教育の意義、学校の役割、教育に関する諸問題について、確かな見識を有していること。
- 4 他者との協調性を身に付け、多様な人々と協働して、課題に取り組むためのコミュニケーション能力を身に付けていること。

## 〔理科専攻〕

## 入学受入方針（アドミSSION・ポリシー）～このような人を求めています～

## ＜人材育成の目標＞

優れた人間性と豊かな教養を有し、各教科についての深い認識と実践的な指導力を身に付けた、地域の教育界の発展に貢献できる教員の養成を目指します。

## ＜入学者に求める能力・資質＞

- 1 高等学校の教育課程（特に理科）について、大学教育を受けるにふさわしい総合的理解がある人
- 2 自然科学と理科教育に対して強い興味・関心を持っている人
- 3 理科の知識に基づいた思考・判断ができ、それを論理的に表現できる人
- 4 周囲の人々と協働しながら、実験・観察に主体的に取り組むことができる人

## ＜入学に際し必要な基礎学力＞

物理、化学、生物、地学のうち2科目及び数学Ⅲを履修していることが望ましい。

## 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

## ＜教育の目標＞

- 1 幅広く深い教養と理科教育及び教職に関する深遠な専門知識を身に付けられる教育
- 2 理科教員として、思考力や表現力、課題解決能力、創造的な探究能力を身に付けられる教育
- 3 教員免許状を取得できる専門知識と実践的指導力を身に付けられる教育
- 4 教員として必要なコミュニケーション能力を身に付けられる教育

## ＜教育課程の構成＞

- 1 初年次を中心に編成された、教養基盤科目、教養育成科目からなる教養教育により、学士力、幅広く深い教養、総合的な判断力等を育成し、教員としての基礎的素養を身に付ける教育を展開する。
- 2 上記1を基盤として、理科専攻の教育目標を達成するための専門教育をカリキュラムマップに則って系統的に行う。  
具体的に専門科目では、
  - (1) 教科専門科目  
理科専門科目の内容に関し深い学識を身に付ける。
  - (2) 教職専門科目  
教育の本質、教育課程、理科指導法、生徒指導、教育相談に関する理論・方法・技術について学ぶ。
  - (3) 総合的・実践的専門科目  
複数の教科にまたがる総合的な内容・テーマ、教育現場における実践的な課題・方法について学ぶ。また、フレンドシップ教育実践・野外体験に関する科目を通して体験的に上記の課題・方法について学ぶ。

(4) 教育実習関連科目

教育現場体験学習、授業実践基礎学習、小学校・中学校における教育実習を通じて実践的指導力を養う。

上記科目区分で、講義・演習・実験・実習を行い、教育現場での実践力を養う。

<教育内容・方法>

- 1 学生の主体的・能動的な参加に基づいた講義科目・演習科目・実験科目・実習科目の開設
- 2 シラバスに詳述されたカリキュラムを構成する授業科目の目標・内容・教育方法・評価方法等に基づいた授業の展開
- 3 シラバス記載の目標の達成に向けた、講義時間外の自己学習(予習・復習)の督促
- 4 実践的指導力を養うための教育実習の実施

<学修成果の評価>

学修成果の評価は、各科目についてはシラバス記載の成績(達成度)評価基準に基づいて行い、学則に従いS、A、B、C、Dの5段階での判定とこれを基にしたGPAの決定を行う。

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)～このような人材を育てます～
-----------------------------------

<学位授与の条件、達成度・能力評価の基準>

- 1 所定の年限在籍し、かつ専攻の定める単位を修得した者
- 2 理科専門科目の内容に関し必要な知識を備える者
- 3 教員に必要な知識と実践的指導力を備え、高い倫理観を持つ者

<学修成果の目標>

- 1 物理学、化学、生物学、地学、物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験についての専門的知識を修得していること。
- 2 小学校及び中学校の教員としての基礎知識を修得し、実践的指導力を身に付けていること。
- 3 現代の社会における教育の意義、学校の役割、教育に関する諸問題について、確かな見識を有していること。
- 4 他者との協調性を身に付け、多様な人々と協働して、課題に取り組むためのコミュニケーション能力を身に付けていること。



## 〔音楽専攻〕

## 入学受入方針（アドミッション・ポリシー）～このような人を求めています～

## ＜人材育成の目標＞

優れた人間性と豊かな教養を有し、各教科についての深い認識と実践的な指導力を身に付けた、地域の教育界の発展に貢献できる教員の養成を目指します。

## ＜入学者に求める能力・資質＞

- 1 高等学校の教育課程、特に「芸術」の「音楽」分野において、大学教育を受けるにふさわしい総合的理解があり、声楽・器楽等の十分な知識や技能を有している人
- 2 音楽理論をよく理解し、音楽についての深い思考力、判断力、表現力を持っている人
- 3 主体的に、そして多様な人々と協働して学ぶことができ、実践することができる人

## ＜入学に際し必要な基礎学力＞

音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（あるいは同等の科目）のうち2つ以上及び英語を履修していることが望ましい。

## 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

## ＜教育の目標＞

- 1 幅広く深い教養と音楽教育及び教職に関する深遠な専門知識を身に付けられる教育
- 2 音楽科教員として、思考力や表現力、課題解決能力、創造的な探究能力を身に付けられる教育
- 3 教員免許状を取得できる専門知識と実践的指導力を身に付けられる教育
- 4 教員として必要なコミュニケーション能力を身に付けられる教育

## ＜教育課程の構成＞

- 1 初年次を中心に編成された、教養基盤科目、教養育成科目からなる教養教育により、学士力、幅広く深い教養、総合的な判断力等を育成し、教員としての基礎的素養を身に付ける教育を展開する。
- 2 上記1を基盤として、音楽専攻の教育目標を達成するための専門教育をカリキュラムマップに則って系統的に行う。

具体的に専門科目では、

- (1) 教科専門科目  
音楽科専門科目の内容に関し深い学識を身に付ける。
- (2) 教職専門科目  
教育の本質、教育課程、音楽科指導法、生徒指導、教育相談に関する理論・方法・技術について学ぶ。
- (3) 総合的・実践的専門科目  
複数の教科にまたがる総合的な内容・テーマ、教育現場における実践的な課題・方法について学ぶ。また、フレンドシップ教育実践・野外体験に関する科目を通して体験的に上記の課題・方法について学ぶ。

(4) 教育実習関連科目

教育現場体験学習、授業実践基礎学習、小学校・中学校における教育実習を通じて実践的指導力を養う。

上記科目区分で、講義・演習・実習を行い、教育現場での実践力を養う。

<教育内容・方法>

- 1 学生の主体的・能動的な参加に基づいた講義科目・演習科目・実習科目の開設
- 2 シラバスに詳述されたカリキュラムを構成する授業科目の目標・内容・教育方法・評価方法等に基づいた授業の展開
- 3 シラバス記載の目標の達成に向けた、講義時間外の自己学習(予習・復習)の督促
- 4 実践的指導力を養うための教育実習の実施

<学修成果の評価>

学修成果の評価は、各科目についてはシラバス記載の成績(達成度)評価基準に基づいて行い、学則に従いS、A、B、C、Dの5段階での判定とこれを基にしたGPAの決定を行う。

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)～このような人材を育てます～
-----------------------------------

<学位授与の条件、達成度・能力評価の基準>

- 1 所定の年限在籍し、かつ専攻の定める単位を修得した者
- 2 音楽科専門科目の内容に関し必要な知識を備える者
- 3 教員に必要な知識と実践的指導力を備え、高い倫理観を持つ者

<学修成果の目標>

- 1 ソルフェージュ、声楽、器楽、指揮法、音楽理論、作曲法、音楽史についての専門的知識を修得していること。
- 2 小学校及び中学校の教員としての基礎知識を修得し、実践的指導力を身に付けていること。
- 3 現代の社会における教育の意義、学校の役割、教育に関する諸問題について、確かな見識を有していること。
- 4 他者との協調性を身に付け、多様な人々と協働して、課題に取り組むためのコミュニケーション能力を身に付けていること。

〔美術専攻〕

入学受入方針（アドミッション・ポリシー）～このような人を求めています～

＜人材育成の目標＞

優れた人間性と豊かな教養を有し、各教科についての深い認識と実践的な指導力を身に付けた、地域の教育界の発展に貢献できる教員の養成を目指します。

＜入学者に求める能力・資質＞

- 1 高等学校の教育課程、特に芸術を含む人文・社会科学分野等において、大学教育を受けるにふさわしい思考力・判断力・表現力等の総合的学力を身に付けている人
- 2 美術の基礎的な造形表現能力を持ち、美術と社会との関係を深く考えることができる人
- 3 主体的に学び、協働して取り組む姿勢を持っている人
- 4 創造活動や新たな課題に積極的に取り組む意欲がある人

＜入学に際し必要な基礎学力＞

- 美術Ⅰを履修していることが望ましい。
- 美術館等に行くことを通して社会や教育における美術の働きについて考える習慣を身に付けていることが望ましい。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

＜教育の目標＞

- 1 幅広く深い教養と美術教育及び教職に関する深遠な専門知識を身に付けられる教育
- 2 美術科教員として、思考力や表現力、課題解決能力、創造的な探究能力を身に付けられる教育
- 3 教員免許状を取得できる専門知識と実践的指導力を身に付けられる教育
- 4 教員として必要なコミュニケーション能力を身に付けられる教育

＜教育課程の構成＞

- 1 初年次を中心に編成された、教養基盤科目、教養育成科目からなる教養教育により、学力、幅広く深い教養、総合的な判断力等を育成し、教員としての基礎的素養を身に付ける教育を展開する。
- 2 上記1を基盤として、美術専攻の教育目標を達成するための専門教育をカリキュラムマップに則って系統的に行う。

具体的に専門科目では、

- (1) 教科専門科目  
美術科専門科目の内容に関し深い学識を身に付ける。
- (2) 教職専門科目  
教育の本質、教育課程、図工科指導法、生徒指導、教育相談に関する理論・方法・技術について学ぶ。
- (3) 総合的・実践的専門科目  
複数の教科にまたがる総合的な内容・テーマ、教育現場における実践的な課題・方法

について学ぶ。また、フレンドシップ教育実践・野外体験に関する科目を通して体験的に上記の課題・方法について学ぶ。

(4) 教育実習関連科目

教育現場体験学習、授業実践基礎学習、小学校・中学校における教育実習を通じて実践的指導力を養う。

上記科目区分で、講義・演習・実習を行い、教育現場での実践力を養う。

<教育内容・方法>

- 1 学生の主体的・能動的な参加に基づいた講義科目・演習科目・実習科目の開設
- 2 シラバスに詳述されたカリキュラムを構成する授業科目の目標・内容・教育方法・評価方法等に基づいた授業の展開
- 3 シラバス記載の目標の達成に向けた、講義時間外の自己学習(予習・復習)の督励
- 4 実践的指導力を養うための教育実習の実施

<学修成果の評価>

学修成果の評価は、各科目についてはシラバス記載の成績(達成度)評価基準に基づいて行い、学則に従いS、A、B、C、Dの5段階での判定とこれを基にしたGPAの決定を行う。

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー) ~このような人材を育てます~
------------------------------------

<学位授与の条件、達成度・能力評価の基準>

- 1 所定の年限在籍し、かつ専攻の定める単位を修得した者
- 2 美術科専門科目の内容に関し必要な知識を備える者
- 3 教員に必要な知識と実践的指導力を備え、高い倫理観を持つ者

<学修成果の目標>

- 1 絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術理論及び美術史についての専門的知識を修得していること。
- 2 小学校及び中学校の教員としての基礎知識を修得し、実践的指導力を身に付けていること。
- 3 現代の社会における教育の意義、学校の役割、教育に関する諸問題について、確かな見識を有していること。
- 4 他者との協調性を身に付け、多様な人々と協働して、課題に取り組むためのコミュニケーション能力を身に付けていること。

## 〔障害児教育専攻〕

## 入学受入方針（アドミSSION・ポリシー）～このような人を求めています～

## ＜人材育成の目標＞

優れた人間性と豊かな教養を有し、各教科についての深い認識と実践的な指導力を身に付けた、地域の教育界の発展に貢献できる教員の養成を目指します。

## ＜入学者に求める能力・資質＞

- 1 高等学校の教育課程について、大学教育を受けるにふさわしい総合的理解のある人
- 2 主体的に学ぶ姿勢と、教員にふさわしい論理的で柔軟な思考能力を持っている人
- 3 特別支援教育に対し、強い意欲がある人

## ＜入学に際し必要な基礎学力＞

特別支援教育に携わる教員にふさわしい、読解・記述の能力、各教科の基礎知識を備えていること。

## 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

## ＜教育の目標＞

- 1 幅広く深い教養と特別支援教育及び教職に関する深遠な専門知識を身に付けられる教育
- 2 特別支援学校の教員として、思考力や表現力、課題解決能力、創造的な探究能力を身に付けられる教育
- 3 教員免許状を取得できる専門知識と実践的指導力を身に付けられる教育
- 4 教員として必要なコミュニケーション能力を身に付けられる教育

## ＜教育課程の構成＞

- 1 初年次を中心に編成された、教養基盤科目、教養育成科目からなる教養教育により、学士力、幅広く深い教養、総合的な判断力等を育成し、教員としての基礎的素養を身に付ける教育を展開する。
- 2 上記1を基盤として、障害児教育専攻の教育目標を達成するための専門教育をカリキュラムマップに則って系統的に行う。  
具体的に専門科目では、
  - (1) 障害児教育専門科目  
障害に関する深い学識、障害のある児童・生徒の教育に関する理論・方法・技術について学ぶ。
  - (2) 教職専門科目  
教育の本質、教育課程、各教科の指導法、生徒指導、教育相談に関する理論・方法・技術について学ぶ。
  - (3) 総合的・実践的専門科目  
複数の教科にまたがる総合的な内容・テーマ、教育現場における実践的な課題・方法について学ぶ。また、フレンドシップ教育実践・野外体験に関する科目を通して体験的に上記の課題・方法について学ぶ。

(4) 教育実習関連科目

教育現場体験学習、授業実践基礎学習、小学校又は中学校における教育実習、特別支援学校における教育実習を通じて実践的指導力を養う。

(5) 教科専門科目

各教科の内容に関し深い学識を身に付ける。

上記科目区分で、講義・演習・実験・実習を行い、教育現場での実践力を養う。

<教育内容・方法>

- 1 学生の主体的・能動的な参加に基づいた講義科目・演習科目・実験科目・実習科目の開設
- 2 シラバスに詳述されたカリキュラムを構成する授業科目の目標・内容・教育方法・評価方法等に基づいた授業の展開
- 3 シラバス記載の目標の達成に向けた、講義時間外の自己学習(予習・復習)の督促
- 4 実践的指導力を養うための教育実習の実施

<学修成果の評価>

学修成果の評価は、各科目についてはシラバス記載の成績(達成度)評価基準に基づいて行い、学則に従いS、A、B、C、Dの5段階での判定とこれを基にしたGPAの決定を行う。

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)～このような人材を育てます～

<学位授与の条件、達成度・能力評価の基準>

- 1 所定の年限在籍し、かつ専攻の定める単位を修得した者
- 2 特別支援教育及び各自が選択した教科専門科目の内容に関し必要な知識を備える者
- 3 教員に必要な知識と実践的指導力を備え、高い倫理観を持つ者

<学修成果の目標>

- 1 特別支援教育の基礎理論、特別支援教育領域(聴覚、知的、肢体不自由、病弱)、特別支援教育領域以外の領域についての専門的知識を修得していること。
- 2 各自が選択した教科の専門的知識を修得していること。
- 3 特別支援学校の教員並びに小学校又は中学校の教員としての基礎知識を修得し、実践的指導力を身に付けていること。
- 4 現代の社会における教育の意義、学校の役割、教育に関する諸問題について、確かな見識を有していること。
- 5 他者との協調性を身に付け、多様な人々と協働して、課題に取り組むためのコミュニケーション能力を身に付けていること。

## 医学部保健学科

### 〔看護学専攻〕

#### 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）～このような人を求めています～

##### <人材育成の目標>

- 1 豊かな見識を身に付け、人間の尊厳を尊重し、全人的医療を担う人材を育成します。
- 2 本学科での学習を通して、学士（看護学）に求められる知識、技能、態度、創造的思考力を身に付けた人材を育成します。
- 3 将来に向け自らを向上させていく意欲と自己開発力を持ち、地域や国際社会での保健医療の諸課題に広く対応できる人材を育成します。
- 4 保健医療の現場においてチーム医療を担う人材を育成します。
- 5 看護師・助産師・保健師となることを通じて、高度化・専門化する保健医療専門職の次世代のリーダーや教育・研究者を育成します。

##### <入学者に求める能力・資質>

- 1 柔軟な発想、みずみずしい感性、高い意欲を持っていること。
- 2 他者とのコミュニケーションが円滑にできること。
- 3 理系課題に対して、論理的な思考を行い、他人に説明できること。
- 4 文系課題に対して、自らの考えを交えて要約して他人に説明できること。
- 5 英文課題に対して、自らの考えと併せて他人に説明できること。

##### <入学に際し必要な基礎学力>

- 1 各入学者選抜の出願要件に定める科目について履修又は履修見込みであること。

#### 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

##### <教育の目標>

- 1 全人的医療の担い手として必要な基礎力を身に付けられる教育
- 2 基礎的学士力「知識、技能、態度、創造的思考力」を身に付けられる教育
- 3 保健医療の担い手として、将来に向け自らを向上させていく意欲と自己開発力を身に付けられる教育
- 4 チーム医療の担い手としての意識と能力を身に付けられる教育
- 5 地域的視点と国際的視野の両方を持ち保健医療の諸課題に広く対応できる能力を身に付けられる教育
- 6 看護師国家試験を受験できる知識と技術を身に付けられる教育
- 7 助産師及び保健師コース受講者については、助産師及び保健師国家試験受験に必要な知識と技術を身に付けられる教育

##### <教育課程の構成>

- 1 初年次を中心に編成された、教養基盤科目、教養育成科目、学部別科目からなる教養教育により、いろいろな考え方を学ぶことで、看護専門職のバックグラウンドとしての

基礎的素養を身に付ける教育を展開する。

- 2 専門基礎・支持的科目では、保健医療の基礎・在り方を学ぶことで、看護専門科目を学び、実践していくための素養を身に付ける教育を展開する。
- 3 教養教育及び専門・基礎支持的科目を基盤として、専攻の教育目標を達成するための専門教育をカリキュラムマップに則って系統的に行う。

具体的には、専門科目では、

- I 看護学の基礎を学ぶ。
- II 対象や場に応じた看護学を学ぶ。
- III I、IIを発展・統合する。

という形式で、講義・演習・実験・実習を行い、専門分野での実践力を養う。

#### <教育内容・方法>

- 1 学生の主体的・能動的な参加に基づいた講義・演習・実験・実習の各教科
- 2 シラバスに詳述されたカリキュラムを構成する授業科目の目標・内容・教育方法・評価方法等に基づいた授業の展開
- 3 シラバス記載の目標の達成に向けた、講義時間外の自己学習(予習・復習)の督励
- 4 実践力を養うための臨地実習の実施

#### <学修成果の評価>

学修成果の評価は、各科目についてはシラバス記載の成績(達成度)評価基準に基づいて行い、学則に従いS、A、B、C、Dの5段階での判定とこれを基にしたGPAの決定を行う。

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)～このような人材を育てます～

#### <学位授与の条件・達成度・能力評価の基準>

- 1 所定の年限在籍し、かつ看護学専攻に定められた単位を修得した者
- 2 看護師に必要な知識と技術を備え、高い倫理観を持つ者
- 3 助産師及び保健師コース受講者については、助産師及び保健師に必要な知識と技術を修得した者

#### <学修成果の目標>

保健医療・福祉におけるチームの中で看護の専門性を発揮し、ケアの調整やマネジメントにリーダーシップを発揮でき、さらに、国際化の進展に対応して世界の看護に視野を広げ、国際看護協力が実践できる人材になること。

具体的には、

- 1 全人的医療を理解し、実践するための能力を身に付けていること。
- 2 医療の基礎となる、人間と生活・社会の理解や論理的・科学的思考を高める学問などについて修得していること。
- 3 看護学分野での研究に必要な手法及び思考法の基礎を修得していること。
- 4 看護学の対象となる人間のライフサイクル、人間理解を深める心理学・社会学の基礎理論や看護過程の方法論などの専門的知識と、看護実践能力を修得していること。
- 5 チーム医療を担う一員であることを認識しながら、看護活動の場の拡大に対応した看護実践能力を修得していること。



- 6 国際的な視野を持ちながら、国や地域レベルの健康課題の解決とシステムづくりに関わる、看護実践能力を修得していること。
- 7 助産師・保健師コースでは助産師・保健師に必要な知識と技術を修得していること。

## 〔検査技術科学専攻〕

## 入学受入方針（アドミッション・ポリシー）～このような人を求めています～

## ＜人材育成の目標＞

- 1 豊かな見識を身に付け、人間の尊厳を尊重し、全人的医療を担う人材を育成します。
- 2 本学科での学習を通して、学士（保健学）に求められる知識、技能、態度、創造的思考力を身に付けた人材を育成します。
- 3 将来に向け自らを向上させていく意欲と自己開発力を持ち、地域や国際社会での保健医療の諸課題に広く対応できる人材を育成します。
- 4 保健医療の現場においてチーム医療を担う人材を育成します。
- 5 臨床検査技師・細胞検査士となることを通じて、高度化・専門化する保健医療専門職の次世代のリーダーや教育・研究者を育成します。

## ＜入学者に求める能力・資質＞

- 1 柔軟な発想、みずみずしい感性、高い意欲を持っていること。
- 2 他者とのコミュニケーションが円滑にできること。
- 3 理系課題に対して、論理的な思考を行い、他人に説明できること。
- 4 文系課題に対して、自らの考えを交えて要約して他人に説明できること。
- 5 英文課題に対して、自らの考えと併せて他人に説明できること。

## ＜入学に際し必要な基礎学力＞

- 1 各入学者選抜の出願要件に定める科目について履修又は履修見込みであること。

## 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

## ＜教育の目標＞

- 1 全人的医療の担い手として必要な基礎力を身に付けられる教育
- 2 基礎的学士力「知識、技能、態度、創造的思考力」を身に付けられる教育
- 3 保健医療の担い手として、将来に向け自らを向上させていく意欲と自己開発力を身に付けられる教育
- 4 チーム医療の担い手としての意識と能力を身に付けられる教育
- 5 地域的視点と国際的視野の両方を持ち保健医療の諸課題に広く対応できる能力を身に付けられる教育
- 6 臨床検査技師国家試験を受験できる知識と技術を身に付けられる教育
- 7 細胞検査士養成コース受講者については、細胞検査士資格試験受験に必要な知識と技術を身に付けられる教育

## ＜教育課程の構成＞

- 1 初年次を中心に編成された、教養基盤科目、教養育成科目、学部別科目からなる教養教育、また専門科目への円滑な移行のための専門基礎・支持的科目により、全人的医療やチーム医療など保健医療従事者としての基礎的素養を身に付ける教育を展開する。
- 2 これを基盤として、専攻の教育目標を達成するための専門教育をカリキュラムマップに則って系統的に行う。学んだ知識を実際の場面で応用できる技術・方法の修得のため、

実習、臨地実習、演習を重視し、専門分野での実践力を養う。

<教育内容・方法>

- 1 学生の主体的・能動的な参加に基づいた講義・演習・実験・実習の各教科
- 2 シラバスに詳述されたカリキュラムを構成する授業科目の目標・内容・教育方法・評価方法等に基づいた授業の展開
- 3 シラバス記載の目標の達成に向けた、講義時間外の自己学習(予習・復習)の督励
- 4 実践力を養うための臨地実習の実施

<学修成果の評価>

学修成果の評価は、各科目についてはシラバス記載の成績(達成度)評価基準に基づいて行い、学則に従いS、A、B、C、Dの5段階での判定とこれを基にしたGPAの決定を行う。

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)～このような人材を育てます～
-----------------------------------

<学位授与の条件・達成度・能力評価の基準>

- 1 所定の年限在籍し、かつ検査技術科学専攻に定められた単位を修得した者
- 2 臨床検査技師に必要な知識と技術を備え、高い倫理観を持つ者
- 3 細胞検査士養成コース受講者については、細胞検査士に必要な知識と技術を修得した者

<学修成果の目標>

保健医療及び医療の基礎となる生命現象に対する知識・理論を理解し、検査技術科学分野の専門的知識と技術及び実践的応用能力を身につけていること。

具体的には、

- 1 全人的医療を理解し、実践するための能力を身につけていること。
- 2 医療の基礎となる化学、生物学、物理学、生理学、生化学、解剖学などについて、その基礎を修得していること。
- 3 検査技術科学分野の新たな発展に必要な研究手法及び研究的思考法の基礎を修得していること。
- 4 臨床検査技師に必要な検体検査、生理機能検査、病気の早期発見のための検査、遺伝子検査、画像解析などの基礎的・専門的知識と技術を修得していること。
- 5 チーム医療の重要性を理解し、実践するための能力を身につけていること。
- 6 国際コミュニケーションスキルと地域・国際社会の保健医療のあり方の基礎を修得していること。
- 7 細胞検査士養成コースでは細胞検査士に必要な知識と技術を修得していること。

## 〔理学療法学専攻〕

## 入学受入方針（アドミッション・ポリシー）～このような人を求めています～

## ＜人材育成の目標＞

- 1 豊かな見識を身に付け、人間の尊厳を尊重し、全人的医療を担う人材を育成します。
- 2 本学科での学習を通して、学士（保健学）に求められる知識、技能、態度、創造的思考力を身に付けた人材を育成します。
- 3 将来に向け自らを向上させていく意欲と自己開発力を持ち、地域や国際社会での保健医療の諸課題に広く対応できる人材を育成します。
- 4 保健医療の現場においてチーム医療を担う人材を育成します。
- 5 理学療法士となることを通じて、高度化・専門化する保健医療専門職の次世代のリーダーや教育・研究者を育成します。

## ＜入学者に求める能力・資質＞

- 1 柔軟な発想、みずみずしい感性、高い意欲を持っていること。
- 2 他者とのコミュニケーションが円滑にできること。
- 3 理系課題に対して、論理的な思考を行い、他人に説明できること。
- 4 文系課題に対して、自らの考えを交えて要約して他人に説明できること。
- 5 英文課題に対して、自らの考えと併せて他人に説明できること。

## ＜入学に際し必要な基礎学力＞

- 1 各入学者選抜の出願要件に定める科目について履修又は履修見込みであること。

## 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

## ＜教育の目標＞

- 1 全人的医療の担い手として必要な基礎力を身に付けられる教育
- 2 基礎的学士力「知識、技能、態度、創造的思考力」を身に付けられる教育
- 3 保健医療の担い手として、将来に向け自らを向上させていく意欲と自己開発力を身につけられる教育
- 4 チーム医療の担い手としての意識と能力を身に付けられる教育
- 5 地域的視点と国際的視野の両方を持ち保健医療の諸課題に広く対応できる能力を身に付けられる教育
- 6 理学療法士国家試験を受験できる知識と技術を身に付けられる教育

## ＜教育課程の構成＞

- 1 初年次を中心に編成された、教養基盤科目、教養育成科目、学部別科目からなる教養教育、また専門科目への円滑な移行のための専門基礎・支持的科目により、全人的医療やチーム医療など保健医療従事者としての基礎的素養を身につける教育を展開する。
- 2 これを基盤として、専攻の教育目標を達成するための専門教育をカリキュラムマップに則って系統的に行う。学んだ知識を実際の場面で応用できる技術・方法の修得のため、実習、臨地実習、演習を重視し、専門分野での実践力を養う。

#### <教育内容・方法>

- 1 学生の主体的・能動的な参加に基づいた講義・演習・実験・実習の各教科
- 2 シラバスに詳述されたカリキュラムを構成する授業科目の目標・内容・教育方法・評価方法等に基づいた授業の展開
- 3 シラバス記載の目標の達成に向けた、講義時間外の自己学習(予習・復習)の督促
- 4 実践力を養うための臨地実習の実施

#### <学修成果の評価>

学修成果の評価は、各科目についてはシラバス記載の成績(達成度)評価基準に基づいて行い、学則に従いS、A、B、C、Dの5段階での判定とこれを基にしたGPAの決定を行う。

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)～このような人材を育てます～
-----------------------------------

#### <学位授与の条件・達成度・能力評価の基準>

- 1 所定の年限在籍し、かつ理学療法学専攻に定められた単位を修得した者
- 2 理学療法士に必要な知識と技術を備え、高い倫理観を持つ者

#### <学修成果の目標>

保健医療の基礎知識・理念を理解し、理学療法学分野の専門的知識と技術及び実践的応用能力を身につけていること。

具体的には、

- 1 全人的医療を理解し、実践するための能力を身に付けていること。
- 2 医療の基礎となる化学、生物学、物理学、生理学、解剖学などについて、その基礎を修得していること。
- 3 理学療法学分野での新しい理論や治療技術の研究・開発力の基礎を修得していること。
- 4 理学療法理念を理解し、障害に対する評価方法と、その障害に対する運動療法、物理療法、生活環境支援などの介入方法の基礎的知識と技術を修得していること。
- 5 チーム医療の重要性を理解し、実践するための能力を身につけていること。
- 6 国際コミュニケーションスキルと地域・国際社会の保健医療のあり方の基礎を修得していること。

## 〔作業療法学専攻〕

## 入学受入方針（アドミSSION・ポリシー）～このような人を求めています～

## ＜人材育成の目標＞

- 1 豊かな見識を身に付け、人間の尊厳を尊重し、全人的医療を担う人材を育成します。
- 2 本学科での学習を通して、学士（保健学）に求められる知識、技能、態度、創造的思考力を身に付けた人材を育成します。
- 3 将来に向け自らを向上させていく意欲と自己開発力を持ち、地域や国際社会での保健医療の諸課題に広く対応できる人材を育成します。
- 4 保健医療の現場においてチーム医療を担う人材を育成します。
- 5 作業療法士となることを通じて、高度化・専門化する保健医療専門職の次世代のリーダーや教育・研究者を育成します。

## ＜入学者に求める能力・資質＞

- 1 柔軟な発想、みずみずしい感性、高い意欲を持っていること。
- 2 他者とのコミュニケーションが円滑にできること。
- 3 理系課題に対して、論理的な思考を行い、他人に説明できること。
- 4 文系課題に対して、自らの考えを交えて要約して他人に説明できること。
- 5 英文課題に対して、自らの考えと併せて他人に説明できること。

## ＜入学に際し必要な基礎学力＞

- 1 各入学者選抜の出願要件に定める科目について履修又は履修見込みであること。

## 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

## ＜教育の目標＞

- 1 全人的医療の担い手として必要な基礎力を身に付けられる教育
- 2 基礎的学士力「知識、技能、態度、創造的思考力」を身に付けられる教育
- 3 保健医療の担い手として、将来に向け自らを向上させていく意欲と自己開発力を身に付けられる教育
- 4 チーム医療の担い手としての意識と能力を身に付けられる教育
- 5 地域的視点と国際的視野の両方を持ち保健医療の諸課題に広く対応できる能力を身に付けられる教育
- 6 作業療法士国家試験を受験できる知識と技術を身に付けられる教育

## ＜教育課程の構成＞

- 1 初年次を中心に編成された、教養基盤科目、教養育成科目、学部別科目からなる教養教育、また専門科目への円滑な移行のための専門基礎・支持的科目により、全人的医療やチーム医療など保健医療従事者としての基礎的素養を身につける教育を展開する。
- 2 これを基盤として、専攻の教育目標を達成するための専門教育をカリキュラムマップに則って系統的に行う。学んだ知識を実際の場面で応用できる技術・方法の修得のため、実習、臨地実習、演習を重視し、専門分野での実践力を養う。

<教育内容・方法>

- 1 学生の主体的・能動的な参加に基づいた講義・演習・実験・実習の各教科
- 2 シラバスに詳述された、カリキュラムを構成する授業科目の目標・内容・教育方法・評価方法等に基づいた授業の展開
- 3 シラバス記載の目標の達成に向けた、講義時間外の自己学習（予習・復習）の督促
- 4 実践力を養うための臨地実習の実施

<学修成果の評価>

学修成果の評価は、各科目についてはシラバス記載の成績（達成度）評価基準に基づいて行い、学則に従いS、A、B、C、Dの5段階での判定とこれを基にしたGPAの決定を行う。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）～このような人材を育てます～

<学位授与の条件・達成度・能力評価の基準>

- 1 所定の年限在籍し、かつ作業療法学専攻に定められた単位を修得した者
- 2 作業療法士に必要な知識と技術を備え、高い倫理観を持つ者

<学修成果の目標>

保健医療福祉における病気や障害に関する医学・保健学の知識に加え、人体の構造やメカニズムを理解し、作業療法分野の専門的知識と技術及び実践的応用能力を身に付けていること。

具体的には、

- 1 全人的医療を理解し、実践するための能力を身に付けていること。
- 2 医療の基礎となる化学、生物学、物理学、生理学、解剖学などについて、その基礎を修得していること。
- 3 作業療学分野の新たな発展に必要な研究手法及び研究的思考法の基礎を修得していること。
- 4 作業療法士に必要な作業療法の理論、身体障害、発達障害、高齢期障害、精神障害などの専門的知識と実践応用能力を習得していること。
- 5 チーム医療の重要性を理解し、実践するための能力を身に付けていること。
- 6 国際コミュニケーションスキルと地域・国際社会の保健医療のあり方の基礎を修得していること。

## 理工学部

〔化学・生物化学科〕

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）～このような人を求めています～
--------------------------------------

## ＜人材育成の目標＞

創造的な探究心を実践力に結びつける教育の展開、及び柔軟で質の高い修学支援を基に、自然科学の基礎知識に立脚し、物質の構成原理・物性の解明、新規反応の開発、新規機能材料の創製、生命現象に関わる生理活性物質の機能解明等の諸課題に意欲的・創造的に取り組み、かつ幅広い国際的視野を備え、人間の尊厳に立脚して社会で広く活躍できる人材の育成

## ＜入学者に求める能力・資質＞

本学科の人材育成、教育の目標に賛同し、本学の教職員と共に学術研究の成果を地域に還元し、豊かな社会の創造に貢献していく意欲にあふれ、以下の能力・意欲を持つ人を求めています。

- 1 高等学校の教育課程、特に自然科学分野について、大学教育を受けるにふさわしい総合的理解がある人
- 2 理工学、中でも化学、生物学分野に対して強い探究心を持っている人
- 3 主体的に学ぶ姿勢と、論理的で柔軟な思考能力を持っている人
- 4 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む意欲がある人

## ＜入学に際し必要な基礎学力＞

数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B（あるいは同等の科目）、理科では、物理（物理基礎を含む。）、化学（化学基礎を含む。）、生物（生物基礎を含む。）（あるいは同等の科目）のうち二つ以上及び英語を履修していることが望ましい。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～
---

## ＜教育の目標＞

我が国の社会を支える研究者・技術者としての倫理観を身に付け、自然科学の基礎知識に立脚し、物質の構成原理・物性の解明、新規反応の開発、新規機能材料の創製、生命現象に関わる生理活性物質の機能解明等について基礎から応用までを学ぶ教育を展開する。

## ＜教育課程の構成＞

- 1 初年次を中心に編成された、人文・社会科学、自然科学、外国語科目等の教養教育、また、専門教育への円滑な移行のための専門基礎教育により、研究者・技術者としての基礎的素養を身に付ける教育を展開する。
- 2 上記1を基盤として、学科の教育目標を達成するための専門教育をカリキュラムマップに則って系統的に行う。学んだ知識を実際の場面で応用できる技術・方法の修得のため、実験・演習を重視し、専門分野での実践力を養う。
- 3 また、社会的自立に必要なスキルの修得のための科目も提供する。



#### <教育内容・方法>

- 1 学生の主体的・能動的な参加に基づいた講義・演習・実験の各科目
- 2 シラバスに詳述された、カリキュラムを構成する授業科目の目標・内容・教育方法・評価方法等に基づいた授業の展開
- 3 シラバス記載の目標の達成に向けた、授業外の自己学習（予習・復習）の督励
- 4 教務システム等を利用したポートフォリオ等の記録作成を通しての、自己学習の充実

#### <学修成果の評価>

学修成果の評価は、各科目についてはシラバス記載の成績（達成度）評価基準に基づいて行い、学則に従いS、A、B、C、Dの5段階での判定とこれを基にしたGPAの決定を行う。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）～このような人材を育てます～

#### <学位授与の条件、達成度・能力評価の基準>

- 1 所定の年限在籍し、かつ学科の定める単位を修得した者
- 2 人間社会・自然環境と調和した科学・技術の発展に主体的に貢献しようとする意欲を持つ者
- 3 職業人、技術者、研究者としての倫理観を持つ者

#### <学修成果の目標>

自然科学に加え、化学に対する総合的な知識・理論の基礎を理解し、物質の構成原理と物性の解明、新規反応の開発に基づく機能材料の創製、及び生命現象に関わる生理活性物質の機能解明等に関する基礎・専門的知識と実践的応用能力を身に付けていること。

具体的には、

- 1 自然科学の基礎となる数学、物理学、化学、生物学などについて、その基礎を修得していること。
- 2 物質（有機・無機・高分子・生体物質等）の性質、構造、反応、機能、合成等及び生物の構造・機能についての基礎的・専門的知識と実践的応用能力を修得していること。
- 3 化学技術者としての基礎技術、理工学技術者としての基礎知識を修得していること。
- 4 国際コミュニケーションスキルの基本を修得していること。
- 5 社会的自立に必要な就業力、社会生活の基礎となる教養と汎用性スキルを修得していること。

## 〔機械知能システム理工学科〕

## 入学受入方針（アドミッション・ポリシー）～このような人を求めています～

## ＜人材育成の目標＞

幅広い自然科学と人文科学の教養と、機械の工学と技術に関する深遠な専門知識を有し、これをもって人類の持続的な発展と福祉に寄与し、さらに、地球環境との調和を意識しながら新しい機械と機械システムを創造していくことができる柔軟性豊かな高度専門職業人を育成

## ＜入学者に求める能力・資質＞

本学科の人材育成、教育の目標に賛同し、本学の教職員と共に学術研究の成果を地域に還元し、豊かな社会の創造に貢献していく意欲にあふれ、以下の能力・意欲を持つ人を求めています。

- 1 高等学校の教育課程、特に自然科学分野について、大学教育を受けるにふさわしい総合的理解がある人
- 2 機械とその知能化に興味があり、理工学、中でも物理学、数学分野に対して強い探究心を持っている人
- 3 主体的に学ぶ姿勢と、論理的で柔軟な思考能力を持っている人
- 4 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む意欲がある人

## ＜入学に際し必要な基礎学力＞

数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B（あるいは同等の科目）、理科では、物理（物理基礎を含む。）と化学（化学基礎を含む。）（あるいは同等の科目）、及び英語を履修していることが望ましい。

## 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

## ＜教育の目標＞

幅広い自然科学と人文科学の教養と、機械の工学と技術に関する深遠な専門知識を有し、これをもって人類の持続的な発展と福祉に寄与し、さらに、地球環境との調和を意識しながら新しい機械と機械システムを創造していくことができる柔軟性豊かな高度専門職業人を育成するための基礎から応用までを学ぶ教育を展開する。

## ＜教育課程の構成＞

- 1 初年次を中心に編成された、人文・社会科学、自然科学、外国語科目等の教養教育、また、専門教育への円滑な移行のための専門基礎教育により、研究者・技術者としての基礎的素養を身に付ける教育を展開する。
- 2 上記1を基盤として、学科の教育目標を達成するための専門教育をカリキュラムマップに則って系統的に行う。学んだ知識を実際の場面で応用できる技術・方法の修得のための、実験・実習・演習を重視し、専門分野での実践力を養う。
- 3 以上の知識、実践力を表現するプレゼンテーション力、英語力の向上に必要な科目を提供するとともに、社会的自立に必要なスキル修得のための科目も提供する。

### <教育内容・方法>

- 1 学生の主体的・能動的な参加に基づいた講義・演習・実習・実験の各科目
- 2 シラバスに詳述された、カリキュラムを構成する授業科目の目標・内容・教育方法・評価方法等に基づいた授業の展開
- 3 シラバス記載の目標の達成に向けた、授業外の自己学習（予習・復習）の督促
- 4 教務システムの利用、ポートフォリオ（自己診断シート）や学習記録表などを活用した自己学習の充実

### <学修成果の評価>

学修成果の評価は、各科目についてはシラバス記載の成績（達成度）評価基準に基づいて行い、学則に従いS、A、B、C、Dの5段階での判定とこれを基にしたGPAの決定を行う。また、ディプロマ・ポリシーの学修成果の目標の各項目の達成度は、ポートフォリオ（自己診断シート）等を通して学生が確認する。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）～このような人材を育てます～

### <学位授与の条件、達成度・能力評価の基準>

- 1 所定の年限在籍し、かつ学科の定める単位を修得した者
- 2 人間社会・自然環境と調和した科学・技術の発展に主体的に貢献しようとする意欲を持つ者
- 3 職業人、技術者、研究者としての倫理観を持つ者

### <学修成果の目標>

幅広い自然科学と人文科学の教養と、機械の工学と技術に関する深遠な専門知識を有し、これをもって人類の持続的な発展と福祉に寄与し、さらに、地球環境との調和を意識しながら新しい機械と機械システムを創造していくことができる能力を身に付け、柔軟性豊かな高度専門職業人として社会に貢献する能力を有していること。

具体的には、

- 1 幅広い教養を身に付け、科学技術が人間社会や環境に与える影響を健全に判断・評価できる能力、及び技術者倫理を修得していること。
- 2 自然科学の本質と基礎原理を十分に理解し、論理的思考により、工学的問題に応用できる能力を修得していること。
- 3 エネルギー変換のプロセスを正確に理解し、エネルギー的に最適で、しかも環境に配慮した機械の設計や開発に寄与できる知識を修得していること。
- 4 機械材料の特性・本質・限界を理解するとともに、機械の設計、製造、運用、廃棄にわたるライフサイクルを通して、最適な材料及びその加工方法の選定ができる能力を修得していること。
- 5 機械の構造や機構・運動の解析能力を身に付け、電子情報技術を融合し機械の知能化を進めることができる知識を修得していること。
- 6 機械・人類・環境の調和を基礎とした機械知能システム理工学を学修し、目的に合った機械システムを設計・創造する能力を修得していること。
- 7 自ら問題を発見し、それを解決する手法、いわゆるデザイン能力を身に付け、さらに、未知なる問題に挑戦する精神を持ち、将来の先端的技術開発に携わることができる素養を身に付けていること。

- 8 自らの研究成果や意見を具体的に表現し、発表・伝達する能力を修得していること。  
また、語学能力及び国際的に協調できる能力を修得していること。
- 9 問題に対して他者と議論し、協力し、協調しながらチームとして解決し、発展させてゆくチームワーク力を身に付けていること。

## 〔環境創生理工学科（環境エネルギーコース）〕

## 入学受入方針（アドミッション・ポリシー）～このような人を求めています～

## ＜人材育成の目標＞

創造的な探究心を実践力に結びつける教育の展開、及び柔軟で質の高い修学支援を基に、自然科学の基礎知識に立脚し、物質とエネルギーの性質を理解し、それらの流れと収支を捉えた上で、環境問題やエネルギーに関する諸課題、又は自然環境との調和を図りながら、種々の社会基盤施設の計画・設計・施工・維持管理に関する諸課題に意欲的・創造的に取り組み、かつ幅広い国際的視野を備え、人間の尊厳に立脚して社会で広く活躍できる人材の育成

## ＜入学者に求める能力・資質＞

本学科の人材育成、教育の目標に賛同し、本学の教職員と共に学術研究の成果を地域に還元し、豊かな社会の創造に貢献していく意欲にあふれ、以下の能力・意欲を持つ人を求めています。

- 1 高等学校の教育課程、特に自然科学分野について、大学教育を受けるにふさわしい総合的理解がある人
- 2 理工学、中でも物理、化学分野に対して強い探究心を持っている人
- 3 主体的に学ぶ姿勢と、論理的で柔軟な思考能力を持っている人
- 4 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む意欲がある人

## ＜入学に際し必要な基礎学力＞

数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B（あるいは同等の科目）、理科では、物理（物理基礎を含む。）、化学（化学基礎を含む。）及び英語を履修していることが望ましい。

## 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

## ＜教育の目標＞

我が国の社会を支える研究者・技術者として、自然科学の基礎知識に立脚し、物質・エネルギー収支に基づくプロセス設計、化学工学、及び環境理工学等を基礎から応用までを学ぶ教育を展開する。

## ＜教育課程の構成＞

- 1 初年次を中心に編成された、人文・社会科学、自然科学、外国語科目等の教養教育、また、専門教育への円滑な移行のための専門基礎教育により、研究者・技術者としての基礎的素養を身に付ける教育を展開する。
- 2 上記1を基盤として、本コースが定める学修成果の目標を達成するための専門教育を、カリキュラムマップに則って系統的に行う。学んだ知識を実際の場面で応用できる技術・方法の修得のため、実験・演習を重視し、専門分野での実践力を養う。
- 3 自ら課題を見出し、積極的に解決へ向けて進められるスキルを修得するための科目を提供する。

#### <教育内容・方法>

- 1 学生の主体的・能動的な参加に基づいた講義・演習・実験の各科目
- 2 シラバスに詳述された、カリキュラムを構成する授業科目の目標・内容・教育方法・評価方法等に基づいた授業の展開
- 3 シラバス記載の目標の達成に向けた、授業外の自己学習の督促
- 4 学生が自分自身で学習・教育目標の達成状況を逐次確認できるためのポートフォリオ(自己診断シート)等の活用

#### <学修成果の評価>

学修成果の評価は、各科目についてはシラバス記載の成績(達成度)評価基準に基づいて行い、学則に従いS、A、B、C、Dの5段階での判定とこれを基にしたGPAの決定を行う。また、ディプロマ・ポリシーにおける学修成果の目標の各項目の達成度は、ポートフォリオ(自己診断シート)等を通して学生が確認する。

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)～このような人材を育てます～
-----------------------------------

#### <学位授与の条件、達成度・能力評価の基準>

- 1 所定の年限在籍し、かつ学科及び本コースの定める単位を修得した者
- 2 人間社会・自然環境と調和した科学・技術の発展に主体的に貢献しようとする意欲を持つ者
- 3 職業人、技術者、研究者としての自覚を持つ者

#### <学修成果の目標>

自然科学、化学工学に対する総合的な知識・理論の基礎を理解し、物質・エネルギー収支に基づくプロセス設計、化学工学、及び環境理工学等に関する基礎・専門的知識と実践的応用能力を修得するために、以下の五つの学習・教育目標を掲げる。

- 1 自然科学の基礎となる数学、物理学、化学、生物学などについて、その基礎を修得していること。
- 2 物質・エネルギー、化学工学、環境理工学についての基礎的・専門的知識と実践的応用能力を修得していること。
- 3 化学工学技術者・理工学技術者としての基礎知識・基礎技術を修得し、かつ自ら課題を分析し、実施計画を組み立てる能力を修得していること。
- 4 国際コミュニケーションスキルの基本を修得していること。
- 5 社会的自立に必要な就業力と汎用的スキルを修得していること。

## 〔環境創生理工学科（社会基盤・防災コース）〕

## 入学受入方針（アドミッション・ポリシー）～このような人を求めています～

## ＜人材育成の目標＞

創造的な探究心を実践力に結びつける教育の展開、及び柔軟で質の高い修学支援を基に、自然科学の基礎知識に立脚し、物質とエネルギーの性質を理解し、それらの流れと収支を捉えた上で、環境問題やエネルギーに関する諸課題、又は自然環境との調和を図りながら、種々の社会基盤施設の計画・設計・施工・維持管理に関する諸課題に意欲的・創造的に取り組み、かつ幅広い国際的視野を備え、人間の尊厳に立脚して社会で広く活躍できる人材の育成

## ＜入学者に求める能力・資質＞

本学科の人材育成、教育の目標に賛同し、本学の教職員と共に学術研究の成果を地域に還元し、豊かな社会の創造に貢献していく意欲にあふれ、以下の能力・意欲を持つ人を求めています。

- 1 高等学校の教育課程、特に自然科学分野について、大学教育を受けるにふさわしい総合的理解がある人
- 2 理工学、中でも物理、化学分野に対して強い探究心を持っている人
- 3 主体的に学ぶ姿勢と、論理的で柔軟な思考能力を持っている人
- 4 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む意欲がある人

## ＜入学に際し必要な基礎学力＞

数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B（あるいは同等の科目）、理科では、物理（物理基礎を含む。）、化学（化学基礎を含む。）及び英語を履修していることが望ましい。

## 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

## ＜教育の目標＞

我が国の社会を支える研究者・技術者としての倫理観を身に付け、自然科学の基礎知識に立脚し、自然環境との調和を図りながら、種々の社会基盤施設を計画・設計・施工・維持管理することのできる幅広い知識を持った人材を育てる教育を展開する。

## ＜教育課程の構成＞

- 1 初年次を中心に編成された、人文・社会科学、自然科学、外国語科目等の教養教育、また、専門教育への円滑な移行のための専門基礎教育により、研究者・技術者としての基礎的素養を身に付ける教育を展開する。
- 2 上記1を基盤として、本コースが定める学修成果の目標を達成するための専門教育を、カリキュラムマップに則って系統的に行う。
- 3 自ら課題を見出し、積極的に解決へ向けて進められるスキルを修得するための科目や、社会的自立に必要なスキルを身に付けるための科目を提供する。
- 4 日本技術者教育認定機構（JABEE）の認定基準を満たす教育を展開する。

### ＜教育内容・方法＞

- 1 学生の主体的・能動的な参加に基づいた科目の設定
- 2 シラバスに詳述された、カリキュラムを構成する授業科目の目標・内容・教育方法・評価方法等に基づいた授業の展開
- 3 シラバス記載の目標達成に向けた、授業外の学習の督励
- 4 学生が自分自身で学習・教育目標の達成状況を逐次確認できるためのポートフォリオ（自己診断シート）等の活用

### ＜学修成果の評価＞

学修成果の評価は、各科目についてはシラバス記載の成績（達成度）評価基準に基づいて行い、学則に従いS、A、B、C、Dの5段階での判定とこれを基にしたGPAの決定を行う。また、ディプロマ・ポリシーにおける学修成果の目標の各項目の達成度は、ポートフォリオ（自己診断シート）等を通して学生が確認する。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）～このような人材を育てます～

### ＜学位授与の条件、達成度・能力評価の基準＞

- 1 所定の年限在籍し、かつ学科及び本コースの定める単位を修得した者
- 2 人文科学、社会科学及び自然科学と理工学の関わり合いを理解し、土木工学の専門技術に関する知識とそれらを応用できる者
- 3 職業人、技術者、研究者としての倫理観を持つ者

### ＜学修成果の目標＞

社会の要請する水準を満たす土木技術者としての素養を身に付けていること。具体的には、

- 1 グローバルな視野と基礎学力：人文・社会・自然科学と工学の関わり合いを理解し、工学の基礎素養を修得していること。
- 2 土木工学の専門知識と応用学力：土木工学主要分野の基礎を身に付け、様々な対象へ展開できる能力の基礎を修得していること。
- 3 自然環境・社会環境との調和及び技術者倫理：技術が自然環境・社会に与える影響や効果及び技術者倫理の基礎を修得していること。
- 4 課題の提案・解決能力：社会や技術の要請から自ら課題を見出し、解決するための思考及び行動力が身に付いていること。
- 5 コミュニケーション能力と国際性：論理的思考能力や、他者との協調性を身に付け、積極的に国内外の技術等に関心を持つ態度を身に付けていること。
- 6 課題の分析・計画立案能力：自ら課題を分析し、実施計画を組み立てる能力を修得していること。
- 7 自主的・継続的学習法の修得：自主的、継続的に学習する能力を修得していること。



## 〔電子情報理工学科（電気電子コース）〕

## 入学受入方針（アドミッション・ポリシー）～このような人を求めています～

## ＜人材育成の目標＞

個々の多様な探究心に応える基礎から応用までを網羅した体系的教育と、質の高い学修支援に基づいて、自然科学、特に数学・物理学・化学の基礎知識に立脚し、電気・電子・情報分野の理工学に関する深い造詣を身に付けるとともに、これらを基礎とした新たな学術領域や応用分野の開拓に意欲的・創造的に取り組み、かつ幅広い国際的視野と倫理観を有する、社会で広く活躍できる人材の育成

## ＜入学者に求める能力・資質＞

本学科の人材育成、教育の目標に賛同し、身に付けた知識・能力を社会・地域に還元し、豊かな社会の創造に貢献していく意欲にあふれ、以下の能力・意欲を持つ人を求めています。

- 1 高等学校の教育課程、特に自然科学分野について、大学教育を受けるにふさわしい総合的理解がある人
- 2 理工学、中でも数学、物理学を基盤とする分野に対して強い探究心を持っている人
- 3 主体的に学ぶ姿勢と、論理的で柔軟な思考能力を持っている人
- 4 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む意欲がある人

## ＜入学に際し必要な基礎学力＞

数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B（あるいは同等の科目）、理科では、物理（物理基礎を含む。）、化学（化学基礎を含む。）（あるいは同等の科目）のうち一つ以上及び英語を履修していることが望ましい。

## 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

## ＜教育の目標＞

技術者として必要となる数学、物理学、化学などの自然科学のみならず、電気電子工学の基礎理論から応用技術までを網羅した体系的なカリキュラムを通じて、電気電子工学に関連した幅広い基礎知識を身に付けるとともに、課題解決のための論理的思考に基づいた応用力と倫理観を有し、科学技術の発展にグローバルに貢献できる人材を育てる教育を展開する。

## ＜教育課程の構成＞

- 1 初年次を中心に人文科学、社会科学、自然科学、及び外国語教育などの教養教育を編成し、技術者としての幅広い教養を身に付けるとともに、国際コミュニケーション能力の基礎となる科目を提供する。
- 2 電子情報理工学の基礎の理解と、専門教育への円滑な移行を目的とした専門基礎科目を初年次に提供する。
- 3 勤労観・職業観の形成により、職業人、技術者、研究者としての将来像を主体的に設計する教育科目を初年次を中心に提供する。
- 4 2年次以降に学科の教育目標を達成するための専門教育をカリキュラムマップに則っ

て系統的に展開する。電気電子工学の基礎となる科目から、応用技術に関連する科目まで幅広く提供し、さらに、演習科目を充実させ、論理的な思考力と実践的な応用力を養う。また、技術者としての倫理観と社会的自立につながる就業力を養う科目を提供する。

- 5 卒業研究を実施し、論理的思考に基づく課題解決への応用力と、論理的に発表し討論する能力を養う。

#### <教育内容・方法>

- 1 シラバスに記述されたカリキュラムを構成する各授業科目の目的、内容（概要、方法、スケジュール）による授業の展開と、評価基準及び成績評価方法に基づいた評価の実施
- 2 各授業科目の学修成果の到達目標に向けた、学生の主体的・能動的な参加の督促
- 3 シラバスに記載の授業外学習情報を活用した授業外の主体的な学修機会（予習と復習）の提供

#### <学修成果の評価>

各授業科目の成績をシラバスに記載の評価方法に基づいて評価し、学則に定められた基準に照らしてS、A、B、C、Dの5段階で評定し、学修成果を評価する。さらに、各授業科目の評定を基にしてGPAを算出する。

#### 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）～このような人材を育てます～

#### <学位授与の条件、達成度・能力評価の基準>

- 1 所定の年限在籍し、かつ学科及びコースの定める単位を修得した者
- 2 職業人、技術者、研究者としての倫理観を持ち、電気電子工学の発展に国内外で貢献しようとする者
- 3 主体的に課題を発見し、論理的に課題を解決する能力を持つ者

#### <学修成果の目標>

数学、物理学、化学などの自然科学の基礎知識に加え、計算機を利用するための基礎知識、並びに電子情報理工学に関する基礎及び専門知識を身に付け、論理的思考により科学、工学に関する問題に応用する能力を修得していること。

具体的には、

- 1 自然科学の基礎となる数学、物理学、化学などについて、その基礎を修得していること。
- 2 電磁気学、電気回路などの電気電子工学の基礎知識を修得した上で、電子材料、電子デバイスの知識を身に付け、素子の設計開発に応用できる基礎能力を修得していること。
- 3 エネルギー変換や光エレクトロニクス、計測制御技術の知識を身に付け、最適なシステムの設計開発に応用できる基礎能力を修得していること。
- 4 情報通信やコンピュータのハードウェア及びソフトウェア技術の知識を身に付け、情報及び回路システムの設計開発に応用できる基礎能力を修得していること。
- 5 社会人のみならず国際人としての教養を持ち、英文技術資料を理解し英語によるコミュニケーション基礎能力を修得していること。
- 6 社会的自立につながる就業力と技術者としての倫理観を持ち、自ら課題を発見し他者と協調しながら計画的に解決する能力を修得していること。また、多面的かつ客観的に物事を捉え、その研究成果を論理的に発表し討論する能力を修得していること。

## 〔電子情報理工学科（情報科学コース）〕

## 入学受入方針（アドミッション・ポリシー）～このような人を求めています～

## ＜人材育成の目標＞

個々の多様な探究心に応える基礎から応用までを網羅した体系的教育と、質の高い学修支援に基づいて、自然科学、特に数学・物理学・化学の基礎知識に立脚し、電気・電子・情報分野の理工学に関する深い造詣を身に付けるとともに、これらを基礎とした新たな学術領域や応用分野の開拓に意欲的・創造的に取り組み、かつ幅広い国際的視野と倫理観を有する、社会で広く活躍できる人材の育成

## ＜入学者に求める能力・資質＞

本学科の人材育成、教育の目標に賛同し、身に付けた知識・能力を社会・地域に還元し、豊かな社会の創造に貢献していく意欲にあふれ、以下の能力・意欲を持つ人を求めています。

- 1 高等学校の教育課程、特に自然科学分野について、大学教育を受けるにふさわしい総合的理解がある人
- 2 理工学、中でも数学、物理学を基盤とする分野に対して強い探究心を持っている人
- 3 主体的に学ぶ姿勢と、論理的で柔軟な思考能力を持っている人
- 4 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む意欲がある人

## ＜入学に際し必要な基礎学力＞

数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B（あるいは同等の科目）、理科では、物理（物理基礎を含む。）、化学（化学基礎を含む。）（あるいは同等の科目）のうち一つ以上及び英語を履修していることが望ましい。

## 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

## ＜教育の目標＞

技術者として必要となる数学、物理学、化学などの自然科学のみならず、情報科学の基礎理論から応用技術までを網羅した体系的なカリキュラムを通じて、情報科学に関連した幅広い基礎知識を身に付けるとともに、課題解決のための論理的思考に基づいた応用力と倫理観を有し、科学技術の発展にグローバルに貢献できる人材を育てる教育を展開する。

## ＜教育課程の構成＞

- 1 初年次を中心に人文科学、社会科学、自然科学、及び外国語教育などの教養教育を編成し、技術者としての幅広い教養を身に付けるとともに、国際コミュニケーション能力の基礎となる科目を提供する。
- 2 電子情報理工学の基礎の理解と、専門教育への円滑な移行を目的とした専門基礎科目を初年次に提供する。
- 3 勤労観・職業観の形成により、職業人、技術者、研究者としての将来像を主体的に設計する教育科目を初年次を中心に提供する。
- 4 2年次以降に学科の教育目標を達成するための専門教育をカリキュラムマップに則って系統的に展開する。情報科学の基礎となる科目から、応用技術に関連する科目まで幅

広く提供し、さらに、演習科目を充実させ、論理的な思考力と実践的な応用力を養う。また、技術者としての倫理観と社会的自立につながる就業力を養う科目を提供する。

- 5 卒業研究を実施し、論理的思考に基づく課題解決への応用力と、論理的に発表し討論する能力を養う。

#### <教育内容・方法>

- 1 シラバスに記述されたカリキュラムを構成する各授業科目の目的、内容（概要、方法、スケジュール）による授業の展開と、評価基準及び成績評価方法に基づいた評価の実施
- 2 各授業科目の学修成果の到達目標に向けた、学生の主体的・能動的な参加の督励
- 3 シラバスに記載の授業外学習情報を活用した授業外の主体的な学修機会（予習と復習）の提供

#### <学修成果の評価>

各授業科目の成績をシラバスに記載の評価方法に基づいて評価し、学則に定められた基準に照らしてS、A、B、C、Dの5段階で評定し、学修成果を評価する。さらに、各授業科目の評定を基にしてGPAを算出する。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）～このような人材を育てます～

#### <学位授与の条件、達成度・能力評価の基準>

- 1 所定の年限在籍し、かつ学科及びコースの定める単位を修得した者
- 2 職業人、技術者、研究者としての倫理観を持ち、情報科学の発展に国内外で貢献しようとする者
- 3 主体的に課題を発見し、論理的に課題を解決する能力を持つ者

#### <学修成果の目標>

数学、物理学、化学などの自然科学の基礎知識に加え、計算機を利用するための基礎知識、並びに電子情報理工学に関する基礎及び専門知識を身に付け、論理的思考により科学、工学に関する問題に応用する能力を修得していること。

具体的には、

- 1 自然科学の基礎となる数学、物理学、化学などについて、その基礎を修得していること。
- 2 計算や情報を視点とした情報科学の数学理論を身に付け、応用する能力を修得していること。
- 3 計算機の構造と原理、計算機による効率的な計算の方法、及び計算機システムの基礎知識を身に付け、それらに関する技術を開発する能力を修得していること。
- 4 計算機に推論や認識などの知的機能を実現するための理論を身に付け、その技術を開発する能力を修得していること。
- 5 社会人のみならず国際人としての教養を持ち、英文技術資料を理解し英語によるコミュニケーション基礎能力を修得していること。
- 6 社会的自立につながる就業力と技術者としての倫理観を持ち、自ら課題を発見し他者と協調しながら計画的に解決する能力を修得していること。また、多面的かつ客観的に物事を捉え、その研究成果を論理的に発表し、討論する能力を修得していること。

## 〔総合理工学科〕

## 入学受入方針（アドミッション・ポリシー）～このような人を求めています～

## ＜人材育成の目標＞

創造的な探究心を実践力に結びつける教育の展開、及び柔軟で質の高い修学支援を基に、自然科学の基礎知識に立脚し、理工学分野の諸課題に既存の学問分野の枠にとらわれず 意欲的・創造的に取り組み、かつ幅広い国際的視野を備え人間の尊厳に立脚して社会で広く活躍できる人材の育成

## ＜入学者に求める能力・資質＞

本学科の人材育成、教育の目標に賛同し、本学の教職員と共に学術研究の成果を地域に還元し、豊かな社会の創造に貢献していく意欲にあふれ、以下の能力・意欲を持つ人を求めています。

- 1 高等学校の教育課程、特に自然科学分野について、大学教育を受けるにふさわしい総合的理解がある人
- 2 理工学に対して広い興味と強い探究心を持っている人
- 3 主体的に学ぶ姿勢と、論理的で柔軟な思考能力を持っている人
- 4 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む意欲がある人

## ＜入学に際し必要な基礎学力＞

数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B（あるいは同等の科目）、理科では、物理（物理基礎を含む。）、化学（化学基礎を含む。）、生物（生物基礎を含む。）（あるいは同等の科目）のうち二つ以上及び英語を履修していることが望ましい。

## 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

## ＜教育の目標＞

バランスのとれた理工系総合基礎学力の統合的教育を目標とする。化学・生物、機械知能、環境創生、電子情報のいずれかを主たる専門分野とするとともに、それらの分野全体を俯瞰した見方や考え方を教育する。

## ＜教育課程の構成＞

初年次から高年次にわたり開設する理学系教育科目、基礎的内容を中心とする学科専門科目、先端的専門知識及び実践力を修得させる「総合理工学先端特別研究」を開講するとともに、学生の目的に応じたカリキュラム設計が可能になるように理工学部のすべての開講科目を受講可能とし卒業単位とする。

## ＜教育内容・方法＞

多くの履修可能な科目から各自の目標に到達するのに必要な科目を組織的に履修できるように、まず、主として修得したい専門分野を、化学・生物、機械知能、環境創生、電子情報から選び、この専門分野ごとに配置されたメンター教員の助言と協力の下、毎学期ごとに履修カリキュラムを作成していくというオーダーメイドなきめ細かい指導を行う。これにより幅広い受講可能科目から、本人に必要な基礎的・専門的知識を修得させる。その

上で、先端的専門知識及び実践力を修得させるため、「総合理工学先端特別研究」の履修を求める。

特に、夜間主修学を行う社会人有職者には、リカレント教育として、理工学の最新の知識を理工学の全分野について提供し、本人の専門以外の分野も広く学ぶプログラムを提供する。

また、昼間主修学を行う者には、十分な専門性が保証され多様な学修目標に対応可能な四つの専門教育プログラム（化学・生物専門教育プログラム、機械知能専門教育プログラム、環境創生専門教育プログラム、電子情報専門教育プログラム）を提供する。この専門教育プログラムでは、各対応学科の必修・選択必修の履修条件を満たした上で、メンターや専門指導教員の指導の下で、理工学部の全分野の履修の機会を用意する。専門教育プログラムの修了者には修了認定書を発行し、受けた教育の専門性を保証する。

#### <学修成果の評価>

学修成果の評価は、各科目についてはシラバス記載の成績（達成度）評価基準に基づいて行い、学則に従いS、A、B、C、Dの5段階での判定とこれを基にしたGPAの決定を行う。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）～このような人材を育てます～

#### <学位授与の条件、達成度・能力評価の基準>

- 1 所定の年限在籍し、かつ学科の定める単位を修得した者
- 2 人間社会・自然環境と調和した科学・技術の発展に主体的に貢献しようとする意欲を持つ者
- 3 職業人、技術者、研究者としての倫理観を持つ者

#### <学修成果の目標>

- 1 自然科学の基礎となる数学、物理学、化学などについて、その基礎を修得していること。
- 2 化学・生物、機械知能、環境創生、電子情報のいずれか一つ以上の分野に関する基礎・専門的知識と実践的応用能力を身に付けていること。
- 3 前記分野での技術者としての基礎技術、理工学技術者としての基礎知識を修得していること。
- 4 国際コミュニケーションスキルの基本、社会的自立に必要な就業力、社会生活の基礎となる教養と汎用性スキルなどを修得していること。
- 5 理工学分野において、俯瞰的な見方に基づき、自らの目的に沿った学修を進められること。

## コンビニエンスストア・クレジットカードでの検定料支払方法

検定料はコンビニエンスストア「セブン-イレブン」「サークルK」「サンクス」「ローソン」「ミニストップ」「ファミリーマート」、クレジットカードで24時間いつでも払い込みが可能です。事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトを御確認ください。

### ① Webで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。



<https://e-shiharai.net/>

携帯サイトの未成年者アクセス制限サービスを解除して御利用ください。

※入力内容を間違えた場合は、始めからもう一度やり直し、新たな番号を取得してお支払いください。  
申込み完了後に通知する支払期限内に代金を支払わなければ、入力情報は自動的にキャンセルされます。

本学HP  
からも  
アクセス  
できます！



クレジットカードでお支払いの場合

画面の指示に従って必要事項を入力し、そのままカード決済手続を行ってください。

※カード決済完了後の修正・取消はできませんので、申し込みを確定する前に内容をよく御確認ください。

### ② お支払い

各店舗へ

そのまま  
カード決済手続へ

コンビニエンスストアでお支払いの場合

●検定料はATMでは振り込みできません。必ずレジでお支払いください。  
●店頭端末機の画面デザイン等は、予告なく変更される場合があります。

クレジットカードでお支払いの場合

**7**  
【払込票番号 (13ケタ)】

●レジにて  
「インターネット支払い」と  
店員に伝え、印刷した【払込票】  
を渡すか、【払込票番号】を  
伝えてお支払いください。  
  
マルチコピー機は使用しません。

お支払い後、必ず「入学検定料・  
選考料 取扱明細書」を受け取っ  
てください。

**K**  
【オンライン決済番号 (11ケタ)】

Kstationへ

各種支払い  
11ケタ等の番号を  
お持ちの方  
オンライン決済番号を  
入力してお支払い  
【オンライン決済番号】  
を入力

店頭端末機より出力される「申込券」(受付票)を持って、30分以内にレジでお支払いください。

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。

**LAWSON**  
【お客様番号 (11ケタ)】  
【確認番号 (4ケタ)】

Loppiへ

各種サービスメニュー  
各種代金・インターネット受付  
(紫のボタン)  
各種代金お支払い  
マルチペイメントサービス  
【お客様番号】【確認番号】  
を入力

**FamilyMart**  
【お客様番号 (11ケタ)】  
【確認番号 (4ケタ)】

Famiポートへ

代金支払い  
各種代金お支払い  
番号入力画面に進む  
【お客様番号】【確認番号】  
を入力

VISA MasterCard JCB

※お支払いされるカードの名称人は、  
受験者本人でなくても構いません。  
ただし、「基本情報入力」画面では、  
必ず受験者本人の情報を入力してく  
ださい。

Web申込みの際に、  
支払方法で  
「クレジットカード」を選択

カード情報を入力

全入力内容が表示されますので、  
正しければ「確定」を押す

お支払い完了です。  
E-支払いサイトの申込内容照会  
(URL: <https://e-shiharai.net/>) にアクセス  
して、「入学検定料・選考料 取扱明細書」  
を印刷してください。

### ③ 出願手続

【コンビニエンスストアでお支払いの場合】

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、  
貼付台紙の所定欄に貼る。



※「収納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意事項に  
「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載  
されている場合は御使用にならないでください。  
「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。



【クレジットカードでお支払いの場合】

支払い完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」  
にアクセスし、受付完了時に通知  
された【受付番号】と【生年月日】  
を入力して「入学検定料・選考料  
取扱明細書」を印刷。「収納証明  
書」部分を切り取り、貼付台紙の  
所定欄に貼る。※左図参照



〈注意〉  
携帯電話・スマートフォンでお申込  
みされた方は、プリンタのある環境  
で申込内容照会を行ってください。

- 支払期間については、募集要項を御確認の上、受付期間に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- コンビニエンスストアでのお支払いの場合、「Webサイトでの申込み」は、支払期間終了30分前までとなります。なお、店頭端末機の利用及びクレジットカードでのお支払いの場合の支払期間は、各募集要項でお示しするとおりです。

- E-支払いサイトの「申込内容照会」から収納証明書が印刷できるのは、クレジットカードでお支払いされた場合に限りです。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問合せください。



周囲は群馬県の象徴である名勝赤城、榛名、妙義の上毛三山を浮き彫りさせて大学を囲み、群馬大学の象徴としています。

## 入 試 情 報

■群馬大学ホームページ <http://www.gunma-u.ac.jp/>

「入試案内」において、以下の情報等をお知らせしています。

- 学生募集要項
- 進学相談会・オープンキャンパス等各種イベント案内
- 入試実施状況、入試統計資料
- 入学時の経費（入学金・授業料等）、奨学金情報
- 過去の入試問題
- 資料請求方法

## 入学試験に関する問合せ先

受付時間 8時30分から12時、13時から17時15分（土・日曜日、祝休日、年末年始を除く）  
本学は主体的に学ぶ姿勢を持つ学生を求めています。問合せは、原則として志願者本人が行ってください。

■本要項及び入学試験全般に関するお問合せ

学務部学生受入課

電話 027-220-7150、7151、7152/FAX 027-220-7155 〒371-8510 前橋市荒牧町4-2

■各学部入試担当係

○教育学部（教務係）

電話 027-220-7223 〒371-8510 前橋市荒牧町4-2

○社会情報学部（教務係）

電話 027-220-7404 〒371-8510 前橋市荒牧町4-2

○医学部（昭和地区事務部学務課入学試験係）

電話（医学科）027-220-8910 } 〒371-8511 前橋市昭和町3-39-22  
（保健学科）027-220-8909 }

○理工学部（学務係）

電話 0277-30-1037 〒376-8515 桐生市天神町1-5-1

LINEとTwitterから入試情報をリアルタイムでお届けします。



[https://page.line.me/gunma\\_uni\\_ad](https://page.line.me/gunma_uni_ad)



[https://twitter.com/gunma\\_uni\\_ad](https://twitter.com/gunma_uni_ad)

